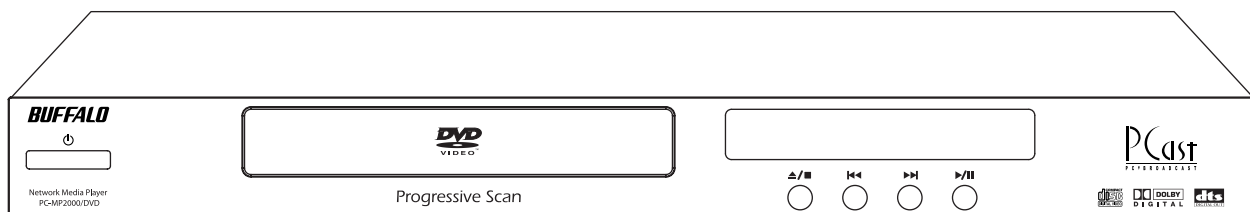
BUFFALO

リンク シアター

LinkTheater™

ネットワークメディアプレーヤー

PC-MP2000/DVD

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク ...... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .. ➘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
 A:フロッピードライブ
 C:ハードディスク
 E:CD-ROMドライブ
・文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・文中< >で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>
・Microsoft Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味 △⃠● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠ 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠ 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：● プラグをコンセントから抜く）

⚠危険

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

・分解、改造しない。
・電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
・火の中に入れたり、過熱したりしない。
・釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

警告

禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

・分解・改造・修理・充電しない。
・使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカの電池を混在して使用しない。
・電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
・消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

接触禁止

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

強制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

・設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・極端に折り曲げないでください。
・電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

警告

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

強制

電源ケーブル（またはACアダプタ）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む）、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

強制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

禁止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CDメディア・DVDメディア（以後メディアと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。

  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。

  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

禁止

ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止

メディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

⚠注意

禁 止

本製品にメディアを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態で移動しないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずメディアを取り出し、電源をOFFにしてから行ってください。

強 制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁 止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強 制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

接続・準備

使ってみよう

詳細設定

付録

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

- PC-MP2000/DVD（本体）................1台
- リモコン............................1個
- 電源ケーブル（1.8m）.................1本
- ビデオ/オーディオケーブル（1.5m）.......1本
- LANケーブル（ストレート）（1.8m）.........1本
- 単4乾電池.........................2個
- ユーティリティCD.....................1枚
- HD-HLAN/HGLANシリーズのデータを再生するには..................1枚
- ユーザーズマニュアル（本書）..........1冊

メモ　ユーザー登録や修理のときにシリアルナンバー（製造番号）の入力が必要です。本製品を設置する前に、本製品背面にシールで貼られている製造番号（14桁の数字）をP59の保証書に記入してください。

※本製品の保証書は本書（P59）に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

リモコンの使いかた

本製品には、リモコンが付属されています。このリモコンを使用すれば、本体の操作をリモコンで行うことができます。ボタンの名前と機能については、「各部の名前と機能」の「リモコン」（P12）を参照してください。

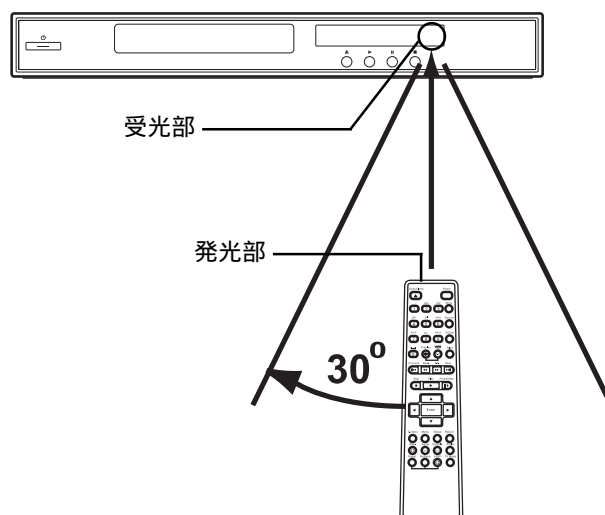
■正しく使うために

リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。

リモコンの使用可能位置については、右図を参照してください。

■電池について

電池を入れるときは、リモコン裏面下部のカバーを外し、単4乾電池を入れてください（P22）。

メモ　出荷時状態ではリモコンに電池は入っていません。付属の電池を入れてください。なお、付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池にお取替えください。

再生できるディスクとファイルの種類

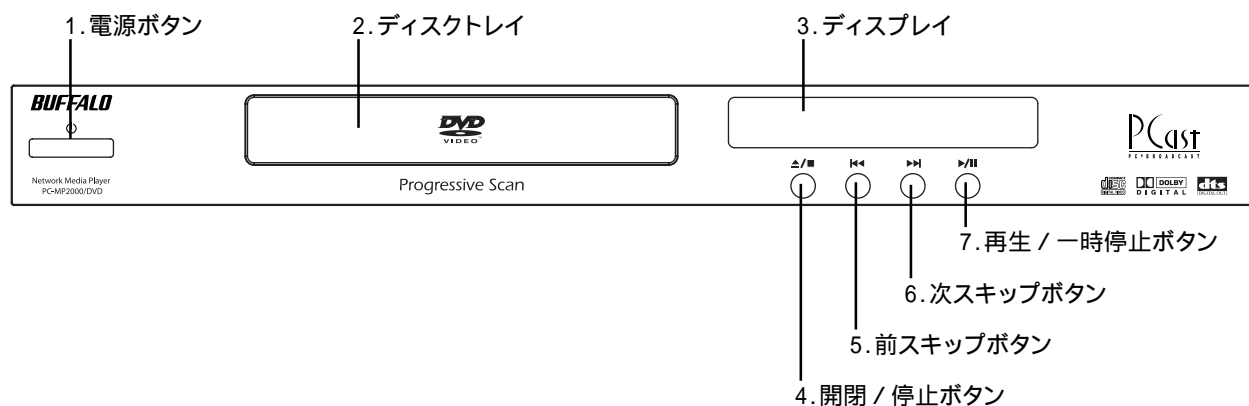
本製品で再生できるディスクおよびファイルの種類は、次の通りです。

項目		内容
読み取り可能なディスク		DVD−R/RW、DVD＋R/RW、DVD−ROM、CD−R/RW、CD−ROM
対応コンテンツ形式	ディスクコンテンツ	・DVD−Video（※1） ・ビデオCD ・スーパービデオCD ・オーディオCD（CD−DA）
	メディアコンテンツ	・MP3、WMA、Ogg、WAV（非圧縮）のいずれかでエンコードされたオーディオファイル ・JPEG、GIF、TIF、BMP、PNGのいずれかで保存／圧縮された画像ファイル ・MPEG4、RMP4、XviD＋MP3/AC3のいずれかでエンコードされたAVIファイル ・MPEG−1形式でエンコードされた動画ファイル（*.DAT） ・MPEG−2形式でエンコードされた動画ファイル（*.MPG）
対応動画フォーマット形式	映像部デジタル圧縮形式	・MPEG−2（DVD−Video、スーパービデオCD、*.MPGファイル） 最大10Mbps（※2）、フレームレート30fps ・MPEG−1（ビデオCD、*.DATファイル） 最大10Mbps（※2）、フレームレート30fps ・MPEG−4（*.AVIファイル） XviD＋MP3/AC時、RMP4時　最大1.5Mbps、最大フレームレート30fps
	音声部デジタル圧縮	・Dolby Digital（AC−3）　マルチチャンネル（※3） ・DTS　マルチチャンネル（※3） ・MPEG−1 Audio Layer1　2チャンネル ・MPEG−1 Audio Layer2　マルチチャンネル ・MPEG−1 Audio Layer3　2チャンネル
	音声部デジタル非圧縮	・リニアPCM 2チャンネル （S/PDIF）16/20/24bit、44.1/48kHz
対応音声フォーマット形式		・CD−DA ・リニアPCM（*.WAV） ・Ogg Vorbis（*.OGG） ・MPEG−1 Audio Layer3（*.MP3） ・Windows Media Audio（*.WMA）（※4）
対応画像フォーマット		・JPEG（※5） ・GIF（※6） ・TIFF（※6） ・BMP（※6） ・PNG（※6）

※1：VRフォーマット形式で記録されたディスクは非対応です。
※2：本製品を11Mbpsの無線LANで接続した場合、3Mbps以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。
※3：デジタル出力のみ対応です。デコード機能はありません。
※4：著作権保護されたファイルは再生できません。
※5：ベースラインJPEGのみ使用できます。
※6：パソコン内のファイルのみ表示できます。ディスクに保存されたファイルやLink Station内のファイルは表示できません。

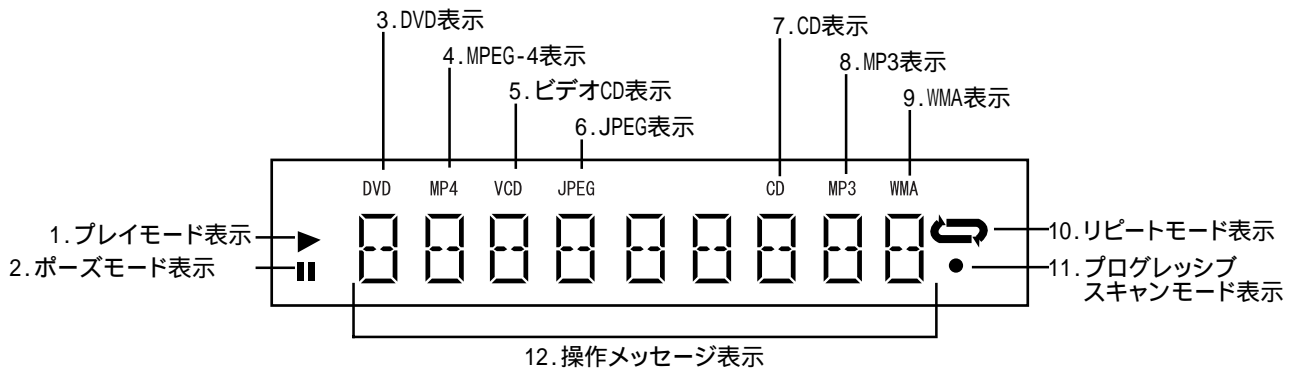
各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体正面

1. **電源ボタン**
   電源のON/OFFを切り替えます。
2. **ディスクトレイ**
   ディスクをのせるトレイです。
3. **ディスプレイ**
   本体の動作状態を表示します。
4. **開閉／停止ボタン**
   ディスクトレイを開閉します。
   ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を停止します。
5. **前スキップボタン**
   ディスク再生時に押すと、前トラックへ移動します。
   映像／音声ファイル再生時に押すと、ファイル先頭へ移動します。
6. **次スキップボタン**
   ディスク再生時に押すと、次トラックへ移動します。
7. **再生／一時停止ボタン**
   ディスクを再生します。
   ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。

はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

各部の名前と機能（つづき）

■ディスプレイ

1. プレイモード表示
現在のプレイモードを表示します。

2. ポーズモード表示
再生を一時停止している場合に表示します。

3. DVD表示
DVDディスク再生時に表示します。

4. MPEG-4表示
MPEG-4(*.AVI)ファイル再生時に表示します。

5. ビデオCD表示
ビデオCDディスク再生時に表示します。

6. JPEG表示
JPEG画像再生時に表示します。

7. CD表示
CDDAディスク再生時に表示します。

8. MP3表示
MP3ファイル再生時に表示します。

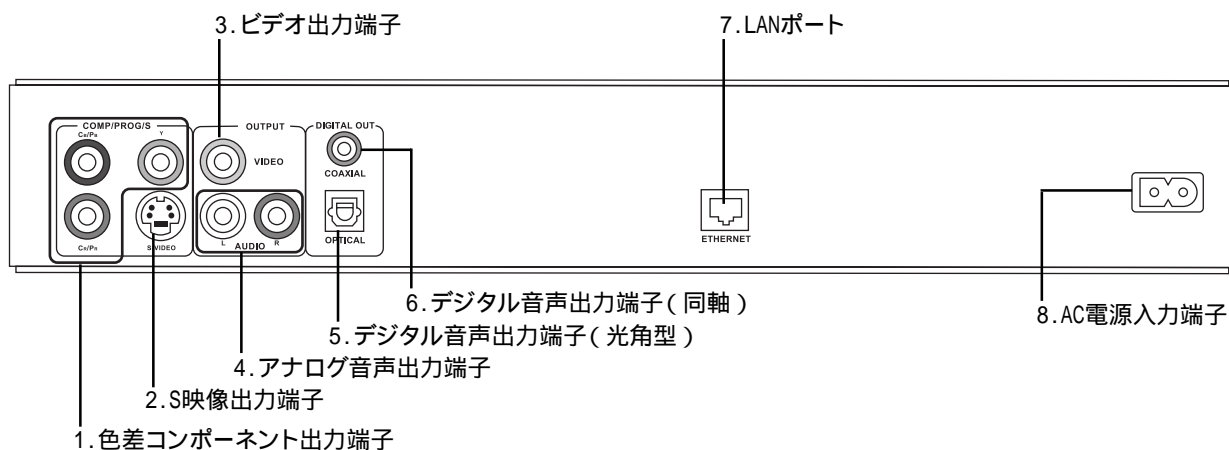
9. WMA表示
Windows Media Audio(*.WMA)ファイル再生時に表示します。

10. リピートモード表示
リピートモード再生時に表示されます。

11. プログレッシブスキャンモード表示
ビデオ出力信号がプログレッシブ出力の場合に表示されます。

12. 操作メッセージ表示
本機器の動作状態を表示します。

各部の名前と機能（つづき）

本体背面

1. **色差コンポーネント出力端子（緑、青、赤）**
   市販のコンポーネントケーブルを接続します。
2. **S映像出力端子**
   市販のS映像ケーブルを接続します。
3. **ビデオ出力端子（黄）**
   付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
4. **アナログ音声出力端子（赤、白）**
   付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
5. **デジタル音声出力端子（光角型）**
   市販のデジタル音声ケーブル（光角型）を接続します。
6. **デジタル音声出力端子（同軸）（橙）**
   市販のデジタル音声ケーブル（同軸）を接続します。
7. **LANポート**
   LANケーブルを接続します。
8. **AC電源入力端子**
   付属の電源ケーブルを接続します。

はじめに

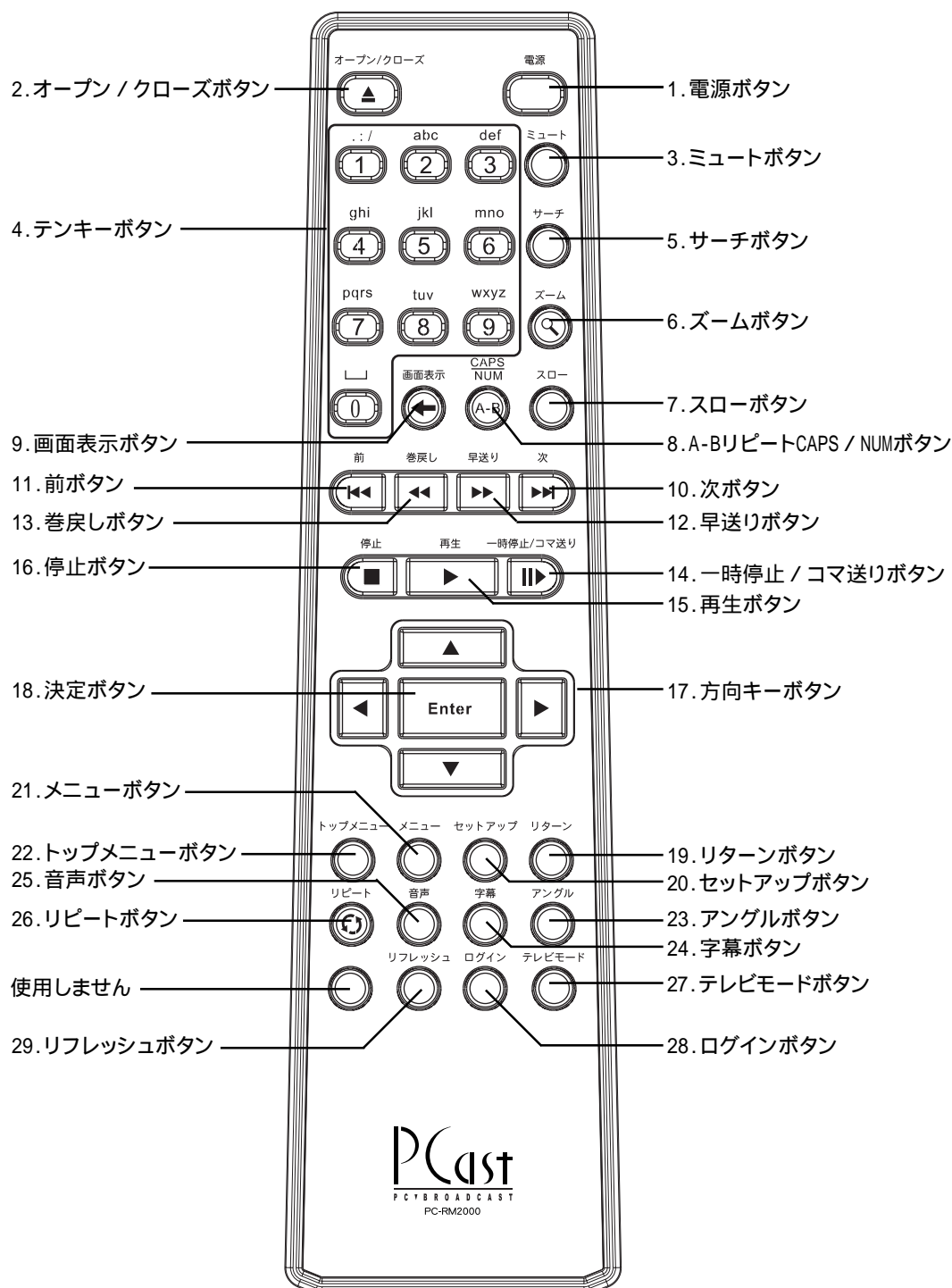
接続・準備

使ってみよう

詳細設定

付録

各部の名前と機能（つづき）

リモコン

各部の名前と機能（つづき）

1. **電源ボタン**

電源をON／OFFします。

2. **オープン／クローズボタン**

ディスクトレイを開閉します。

3. **ミュートボタン**

音声のON／OFFを切り替えます。

4. **テンキーボタン**

英数文字を入力します。同じボタンをすばやく数回押すことでボタン上に印字されている文字を順に入力することができます。

5. **サーチボタン**

ディスク再生時に押すと、タイムサーチ画面を表示します。

タイムサーチ画面から時間またはタイトル／チャプターを指定すると、指定した場所からディスクを再生できます。

6. **ズームボタン**

ディスク／映像ファイル再生時に押すと、ズーム（拡大表示）します。

7. **スローボタン**

ディスク／映像ファイルをスローで再生したい場合に使用します。

DVDビデオを再生しているときにボタンを押すと、1/2倍速→1/4倍速→1/8倍速の順でスロー再生の速度が切り替わります。

8. **A-Bリピート、CAPS／NUMボタン**

・DVDビデオ再生時

指定した範囲でディスクをリピート再生したい場合に使用します。

指定したい範囲の開始位置で一度ボタンを押し、終了位置でもう一度押します。

これで指定範囲内のリピート再生が始まります。

リピート再生を解除する場合は、もう一度ボタンを押します。

・文字や数字の入力時（パスワード入力時など）

文字入力の方式を切り替えます。

ボタンを押すたびに、英小文字入力→英大文字入力→数字入力の順で切り替わります。

9. **画面表示ボタン**

ディスク／ファイル再生時に押すと、現在再生しているディスク／ファイルの情報を表示します。

詳細設定画面表示時に押すと、前に表示していた画面に戻ります。

10. **次ボタン**

ディスク再生時に押すと、次のトラックへスキップします。

また、ファイル選択画面などが1画面に収まっていない場合に画面をスクロールします。

11. **前ボタン**

ディスク再生時に押すと、現在再生しているトラックの先頭へスキップします。

音楽ファイル再生時に押すと、ファイルの先頭へスキップします。

また、ファイル選択画面などが1画面に収まっていない場合に画面をスクロールします。

12. **早送りボタン**

ディスク／映像ファイル再生時に押すと、早送りします。

DVDビデオを再生しているときにボタンを押すと、8倍速→16倍速→32倍速→48倍速の順で早送りの速度が切り替わります。

13. **巻戻しボタン**

ディスク／映像ファイル再生時に押すと、巻戻しします。

DVDビデオを再生しているときにボタンを押すと、8倍速→16倍速→32倍速→48倍速の順で巻戻しの速度が切り替わります。

14. **一時停止／コマ送りボタン**

ディスク／ファイル再生時に押すと、再生を一時停止します。

DVDビデオやビデオCDディスクの一時停止時に押すと、コマ送りします。

15. **再生ボタン**

ディスク／ファイルを再生します。

16. **停止ボタン**

ディスク／ファイルの再生を停止します。

各部の名前と機能（つづき）

17. 方向キーボタン

画面中のカーソルを上下左右に移動します。

18. 決定ボタン

カーソルが選択している項目を確定します。

19. リターンボタン

ディスク再生時、またはトップ／詳細設定画面表示時に押すと、前に表示していた画面に戻ります。

20. セットアップボタン

本製品の詳細設定画面を表示します。

21. メニューボタン

ディスク再生時に押すと、DVDビデオやビデオCDのメニュー画面を表示します。

22. トップメニューボタン

ディスク再生時に押すと、DVDビデオやビデオCDのトップメニュー画面を表示します。

23. アングルボタン

複数のアングルを持つDVDディスクの再生時に押すと、再生アングルを切り替えます。画像（フォト）ファイルを表示しているときは、90度ごとに画像を回転します。

24. 字幕ボタン

複数の字幕をDVDディスクの再生時に押すと、表示する字幕を切り替えます。

25. 音声ボタン

複数の音声を持つディスク／ファイルの再生時に押すと、出力する音声を切り替えます。

26. リピートボタン

・ディスク再生時

ディスクをリピート再生したい場合に使用します。
一度ボタンを押すと、再生中のチャプターをリピート再生します（DVDディスク再生時のみ）。
もう一度押すと、再生中のタイトルをリピート再生します。
リピート再生を解除する場合は、さらにもう一度ボタンを押します。

・パソコンやLinkStation™のファイル選択時

パソコンやLinkStationのファイル選択時にボタンを押すと、画面に表示されている映像ファイルと音楽ファイルを連続で再生します。

27. テレビモードボタン

映像の表示形式を切り替えます。ボタンを押すごとに[コンポジット/S-VIDEO]→[コンポーネント 480i]→[コンポーネント 480p]の順に切り替わります。テレビの接続にあわせて以下の形式に切り替えてください。

・ビデオ出力端子またはS映像出力端子に接続した（P20の方法で接続した）場合

[コンポジット/S-VIDEO]を選択してください。

・色差コンポーネント出力端子に接続した（P21の方法で接続した）場合

お使いのテレビがプログレッシブ再生に対応している場合は[コンポーネント 480p]を選択してください。対応していない場合は、[コンポーネント 480i]を選択してください。
[コンポーネント 480p]を選択した場合、プログレッシブ再生を行います。プログレッシブ再生とは、1枚の画面を1回の走査で表示する形式で、画面のチラつきを抑えることができます。

⚠注意 **[コンポーネント 480p]を選択した場合、プログレッシブ再生に対応していないテレビでは映像が表示されません。テレビの接続方法にあった形式を選択してください。**

28. ログインボタン

本製品のトップ画面（再生するディスクやパソコンを選択する画面）を表示します。

29. リフレッシュボタン

詳細設定画面／トップ画面／ファイル一覧表示時に押すと、画面項目が更新されます。

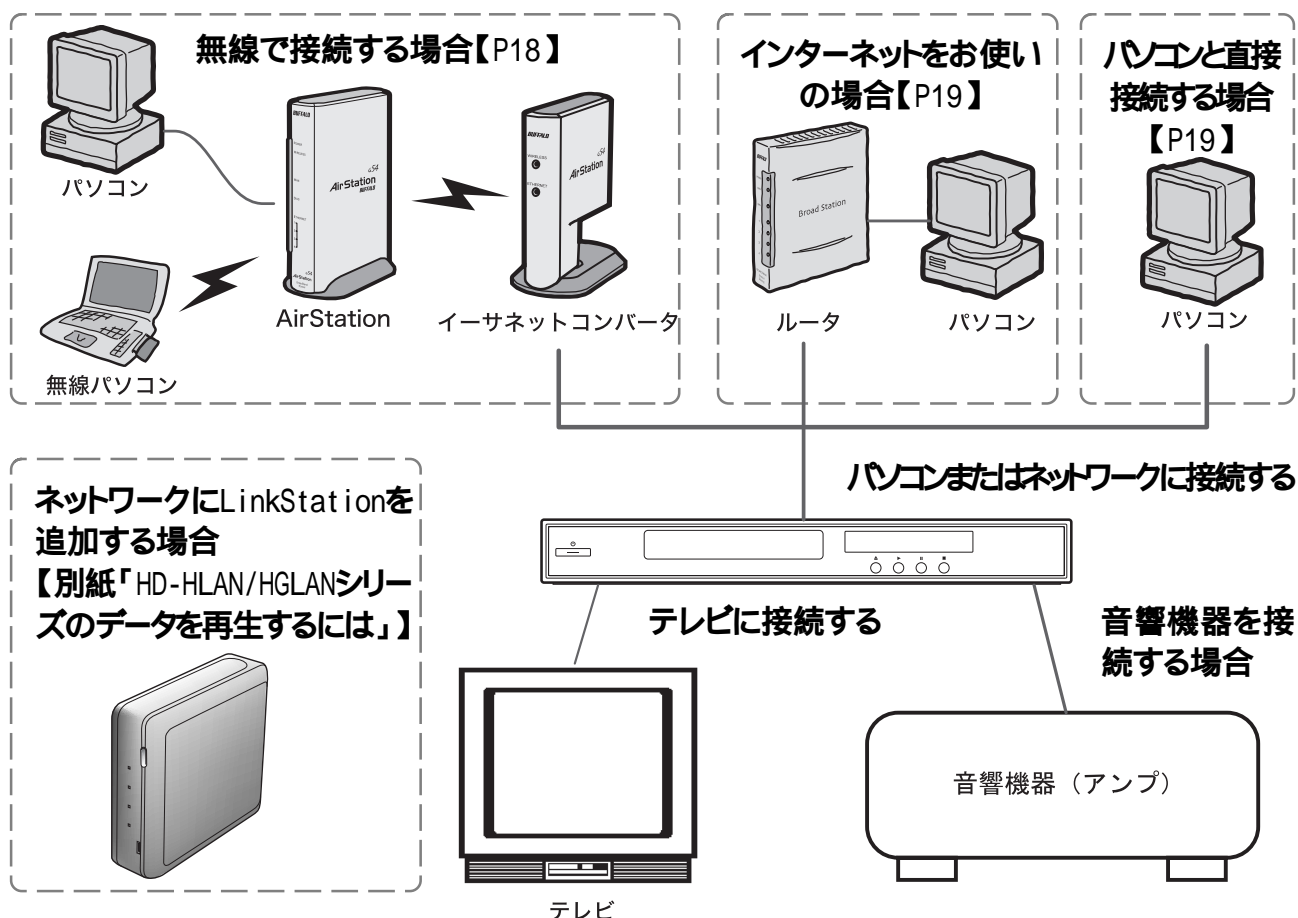
制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

- **同時に接続し使用できる映像出力および音声出力は、1系統のみです。**
- **ファイナライズされていないCD-R/RWディスクを再生した場合、ディスクの時間情報(再生時間など)が全表示されないことがあります。**
- **VRフォーマットで書き込まれたDVD-R/RW、DVD+R/RWは再生できません。**
- **リージョン・コード「2」を含まないDVDビデオディスクは再生できません。**
  本製品のリージョンコードは「2」に設定されています。
- **NTSC方式以外のテレビ方式で記録されたディスクは、映像が縦長に表示される場合があります。**
- **映像出力を家庭用テレビ以外の機器を経由して接続すると、再生映像が乱れる場合があります。**
  本製品はコピープロテクション機能を搭載しています。録画機能を搭載した機器を経由させると、コピープロテクション機能により再生映像が乱れることがあります。
- **ビデオ録画機能を内蔵した家庭用テレビに接続する場合、コピープロテクション機能により再生映像が乱れる場合があります。**
- **再生中は、テレビタイプの設定（アスペクト比の変更）を行えません。**
  テレビタイプの設定は、再生を停止してから行ってください。
- **プログレッシブスキャン出力機能は、本機の色差コンポーネント出力をプログレッシブスキャン対応テレビに接続した場合のみ利用可能です。**
  プログレッシブスキャンに非対応の家庭用テレビでは、映像が正しく表示されない場合があります。
- **DVDタイトルによっては、タイムサーチ機能，ズーム表示機能が利用できないことがあります。**
- **パソコンやLinkStationのデータを再生する場合は、本機の電源投入前にネットワークケーブルを接続する必要があります。**
  再生するファイルが保存された機器の電源を入れてから本製品の電源を入れてください。
- **画像ファイルの再生の場合は、フォルダ階層の2層目以降にあるファイルは再生できません。**
- **ファイル名に2バイト文字（全角文字）が使用されている場合、ファイル名が正しく表示されない場合があります。**
  表示がおかしい場合は、半角英数字のファイル名に変更してください。
- **JPEGファイルを再生する場合、ベースラインJPEG以外のファイルは再生できません。**
- **インターリーブされていないAVIファイルは、正常に再生することができない場合があります。**
- **FileSystem Revisionが付加されていないCD/DVDメディア上のメディアファイルは認識できないことがあります。**
  WinCDRでは、[設定]-[データ設定]-[ISO9660/UDF]タブ> [バージョン情報]のチェックを入れてライティングすることで回避できます。
- **ディスクに保存した映像ファイルでは、早送り、巻戻しが正常に行えないことがあります。**
- **ファイル拡張子が4文字の場合（*.jpegなど）、映画、音楽、写真の各カテゴリに正しく分類できないことがあります。**
- **画面表示で、CD-TEXTなど表示文字数の多い情報を表示させた場合、表示ウィンドウ枠を超えて表示され、表示を消すことができない場合があります。**
  表示を消すには、ファイルの再生を停止してください。

接続・準備の手順

本製品の接続および準備は以下の手順で行ってください。

⚠注意　接続を行うときは、本製品を含め接続する全ての機器の電源を切ってから接続してください。

ネットワークにLinkStationを追加する場合は?

上記の手順を行った後、別紙「HD-HLANシリーズのデータを再生するには」を参照してください。

必要な機器

ネットワークに接続する方法は、お使いの環境によって異なります。そのため、お使いの環境によっては別途ご用意いただくものがあります。以下の表を参照してお使いの環境にあった機器をご用意ください。

⚠注意 **別途LANケーブルをご用意される方へ**
- 100Mbpsでネットワークを構築するときは、必ず付属のケーブルまたはカテゴリ5対応のLANケーブル（弊社製ETPケーブルなど）をお使いください。
- 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。

START

本製品を無線で接続しますか?

はい →

イーサネットコンバータとAirStation™が必要です。
【「無線で接続する場合」（P18）へ】

イーサネットコンバータとAirStationは、54Mbps（IEEE802.11g）または11Mbps（IEEE802.11b）対応のものが必要です。お持ちでない場合は、別途弊社製イーサネットコンバータおよびAirStationをご購入ください。なお、高画質な映像ファイルを再生する場合は、54Mbpsを推奨します。

いいえ ↓

接続するパソコンをインターネットに接続していますか?

はい →

ルータが必要です。
【「インターネットをお使いの場合」（P19）へ】

本製品を接続するにはルータが必要です。ルータをお持ちでない（DHCPサーバがない）場合は、別途弊社製ルータをご購入ください。なお、お使いのモデムにルータが搭載されていることもありますのでご確認ください。

メモ **ルータとは**
複数のパソコンやネットワーク機器（本製品を含む）を使用する場合に、各機器のネットワーク設定を自動で設定する機器です。

いいえ →

LANケーブル（クロス）が必要です。
【「パソコンと直接接続する場合（P19）へ】

パソコンをインターネットに接続していない場合はパソコンと直接接続します。市販のクロスケーブルが必要ですので別途ご用意ください。

本製品をパソコンまたはネットワークに接続する

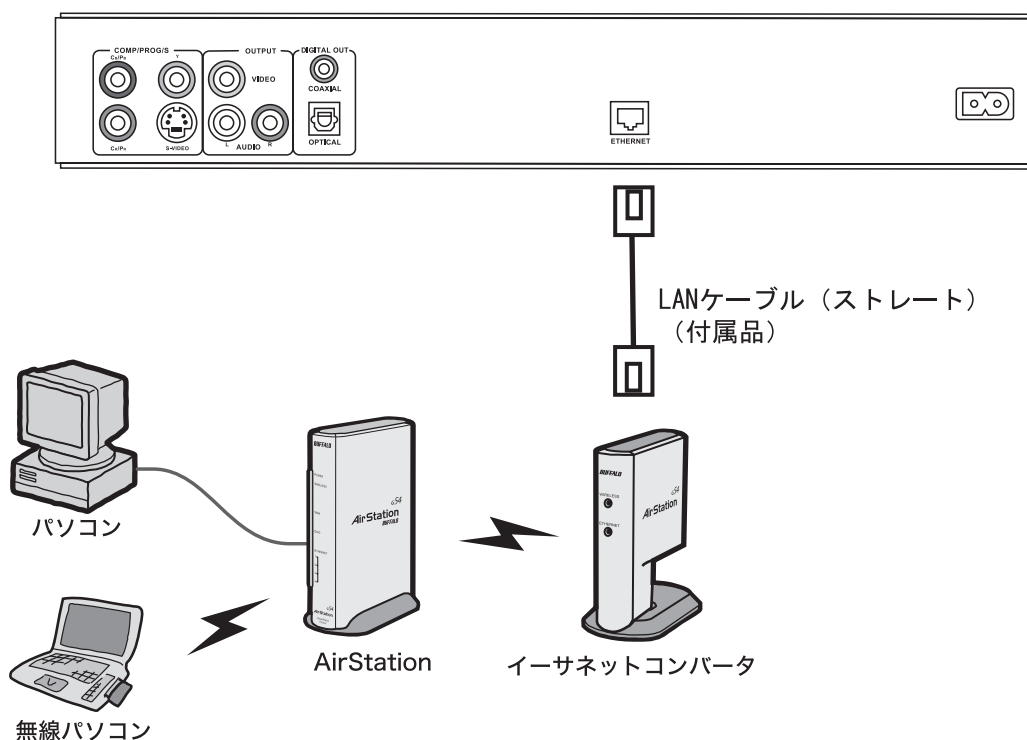
無線で接続する場合

本製品を無線で接続する場合は、別売の弊社製イーサネットコンバータおよびAirStation(アクセスポイント)が必要です。以下の手順で接続してください。

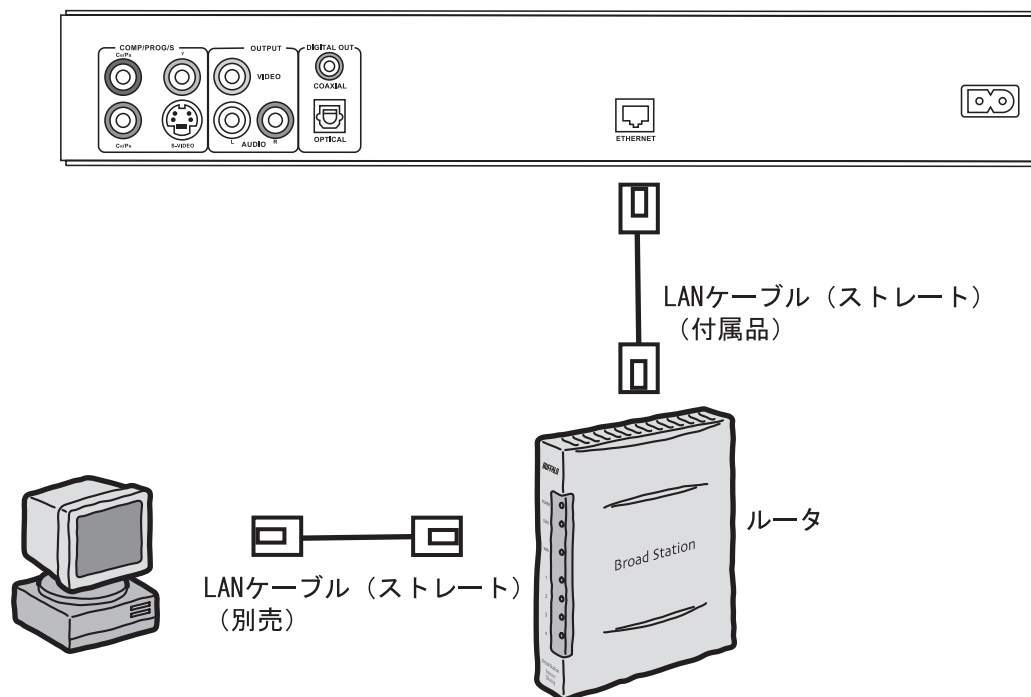
メモ **イーサネットコンバータやAirStationは、54Mbps(IEEE802.11g)をお使いになることをお勧めします。11Mbps(IEEE802.11b)の場合、3Mbps以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。**

1 54Mbps(IEEE802.11g)または11Mbps(IEEE802.11b)対応の弊社製イーサネットコンバータを設定します。

設定方法は、イーサネットコンバータのマニュアルを参照してください。

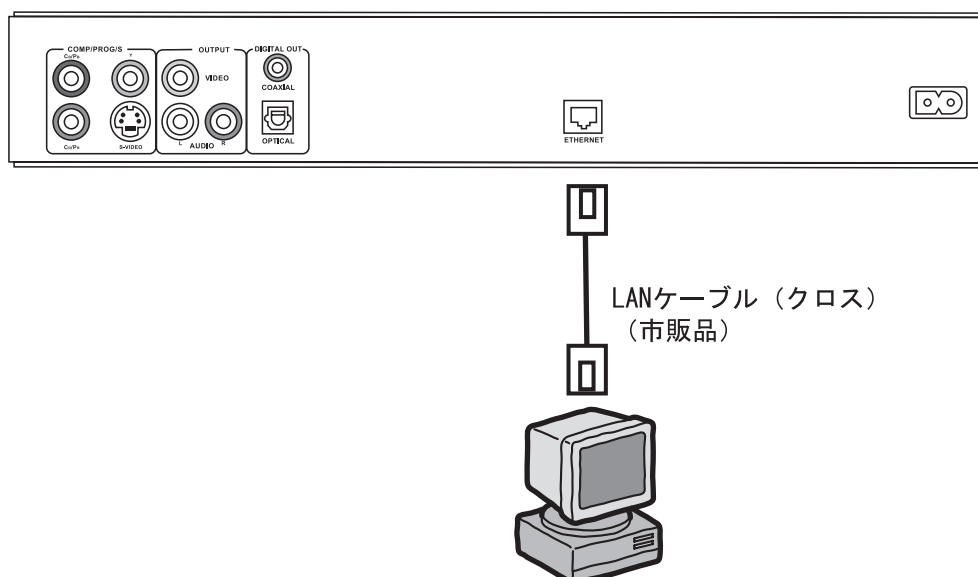
2 本製品とイーサネットコンバータを接続します。

本製品をパソコンまたはネットワークに接続する（つづき）

インターネットをお使いの場合

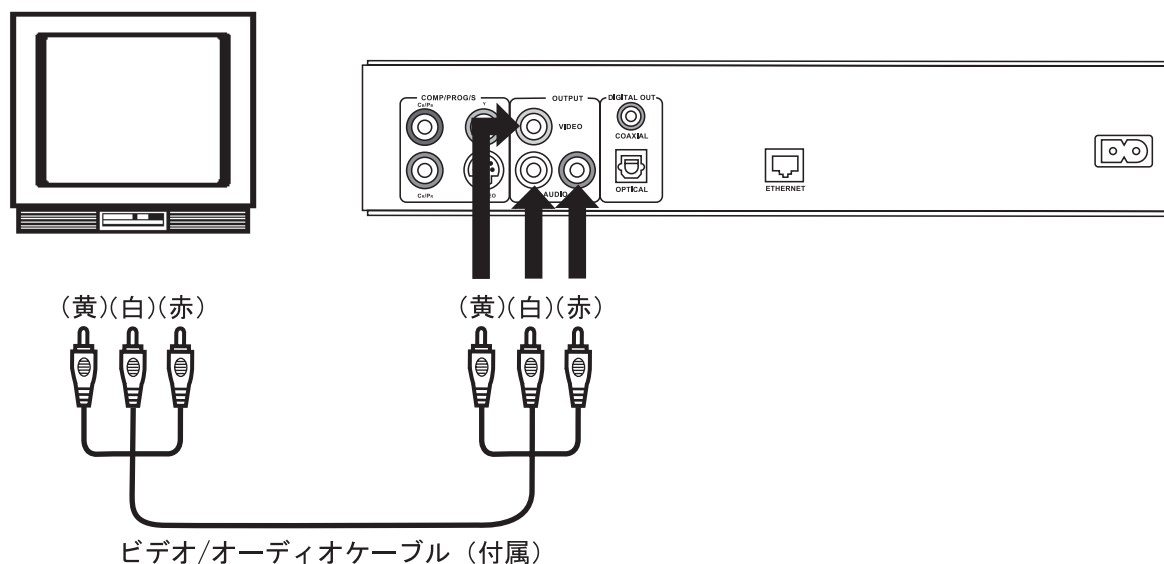
本製品をルータと接続します。

⚠注意 **お使いの環境にルータがない場合（DHCPサーバを使用していないとき）は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。本製品の接続が完了したら、「ルータをお持ちでない方へ」（P47）を参照してネットワーク設定を行ってください。**

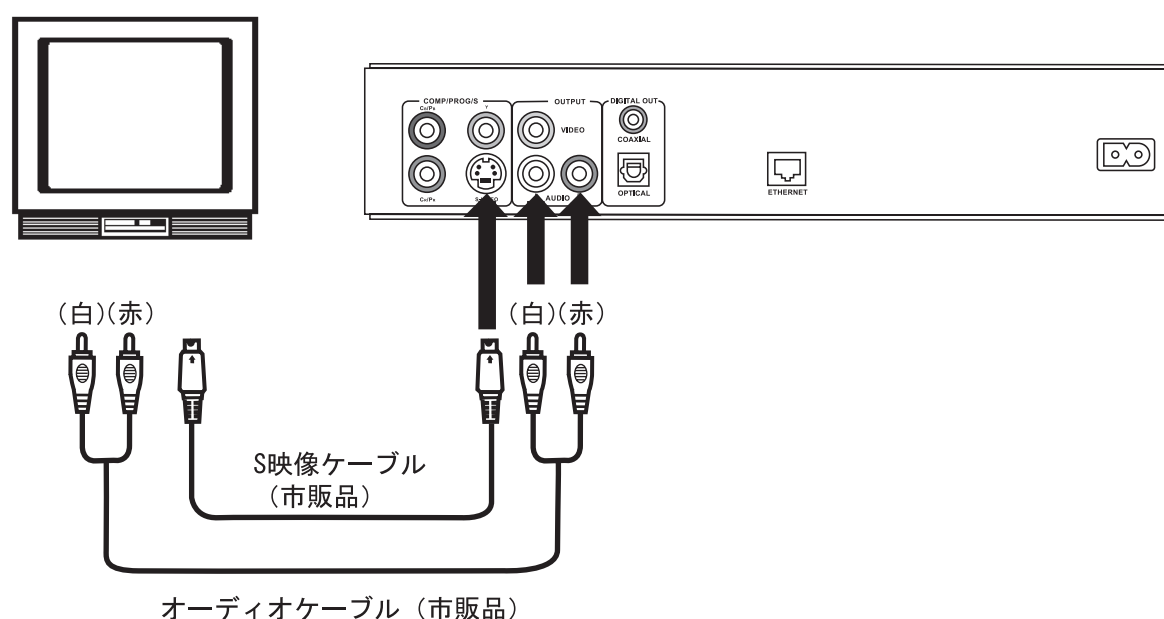
パソコンと直接接続する場合

パソコンと本製品を直接接続したい場合は、市販のクロスケーブルが必要です。以下のように接続してください。

⚠注意 **付属のLANケーブルはストレートケーブルです。クロスケーブルは別途ご用意ください。**

本製品をテレビに接続する

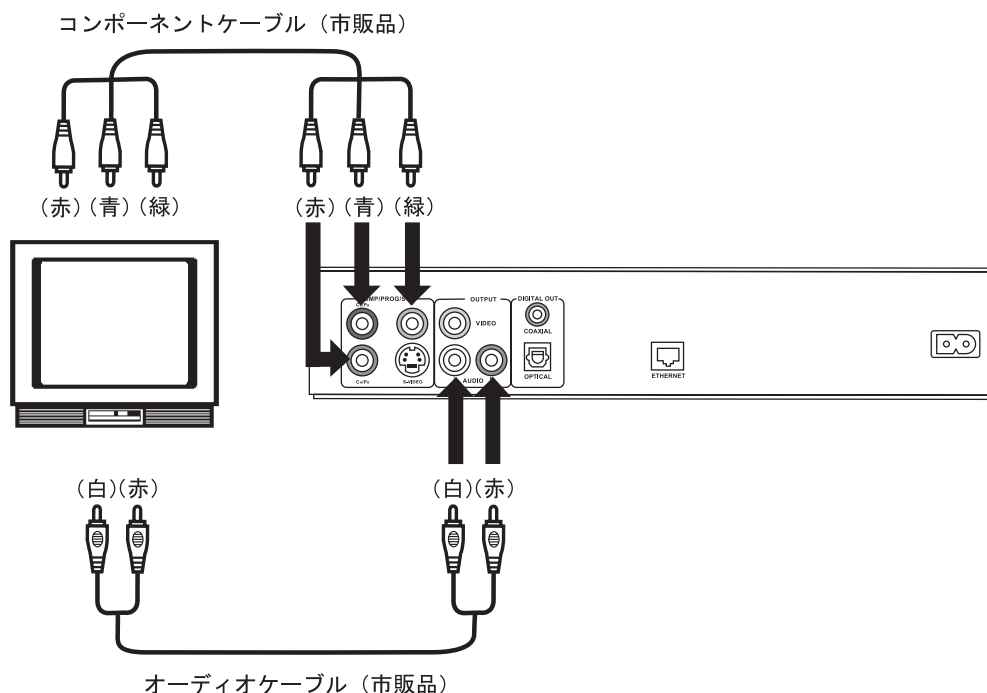
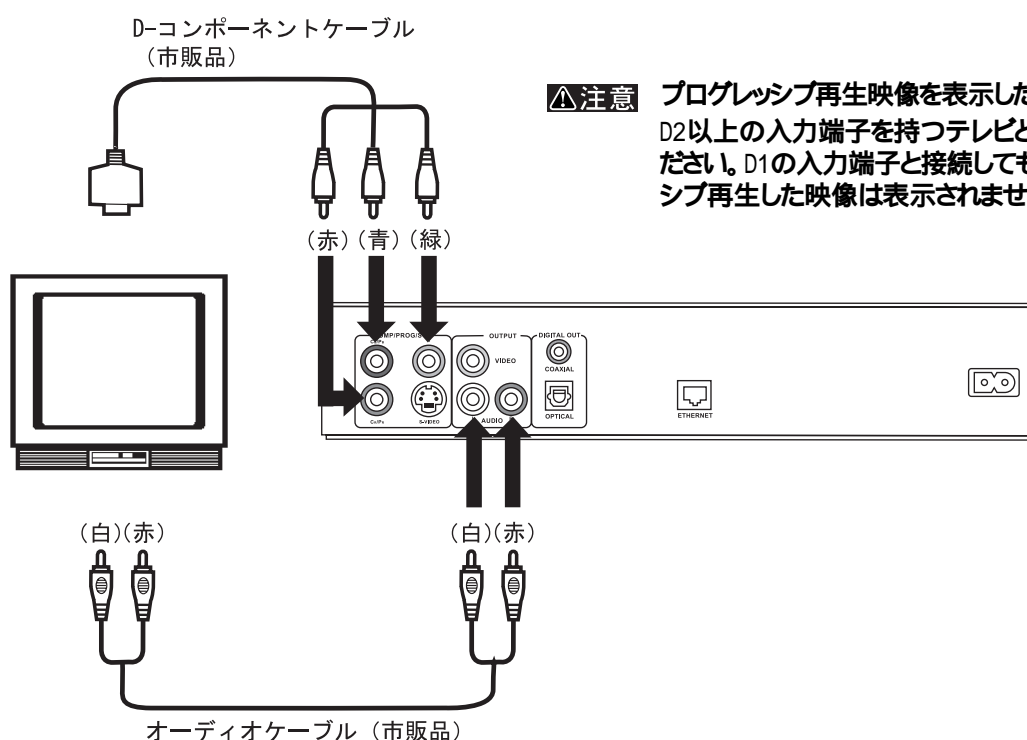
本製品をテレビに接続します。テレビにS映像入力端子やコンポーネント入力端子、D映像入力端子がある場合、それぞれの端子に接続するとより高品質の映像をご覧いただけます。

⚠注意　本製品の映像出力端子を2系統以上接続（ビデオ出力端子と色差コンポーネント出力端子をどちらも接続するなど）しないでください。

高品質の映像を楽しみたい（S映像入力端子に接続）

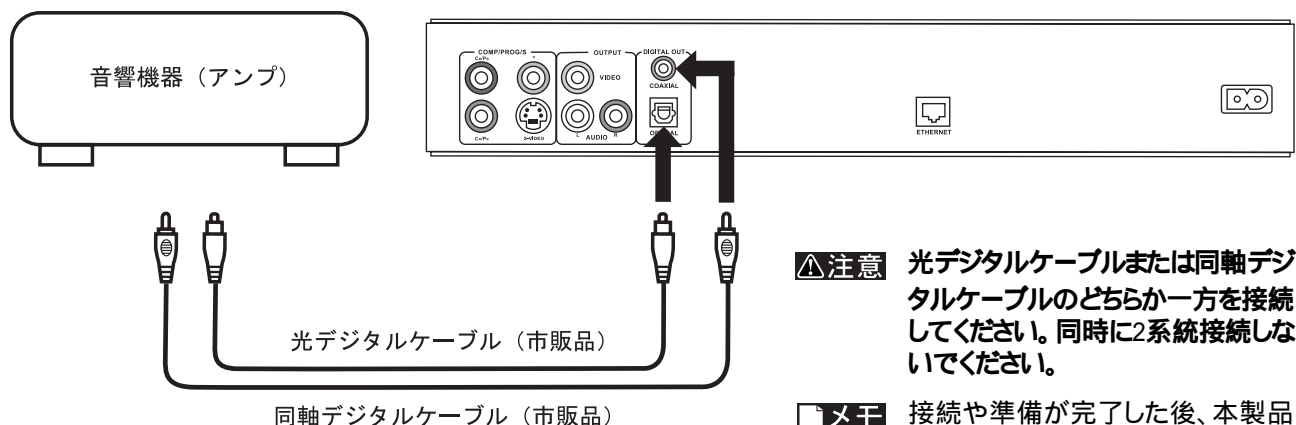
お使いのテレビにS映像入力端子がある場合、付属のビデオ / オーディオケーブルで接続するよりもより鮮明な映像をお楽しみいただけます。なお、S映像入力端子に接続するには、市販のS映像ケーブルが必要です。

本製品をテレビに接続する（つづき）

さらに高品質な映像を楽しむ（コンポーネントやD入力端子に接続）

お使いのテレビにコンポーネント入力端子またはD入力端子がある場合、以下のように接続してください。なお、コンポーネント入力端子およびD入力端子に接続するには、市販の専用ケーブルが必要です。

■コンポーネント入力端子に接続する

■D 入力端子に接続する

⚠注意 **プログレッシブ再生映像を表示したい場合は、D2以上の入力端子を持つテレビと接続してください。D1の入力端子と接続してもプログレッシブ再生した映像は表示されません。**

本製品に音響機器を接続する場合

本製品の音声を音響機器(デコーダ付デジタルアンプなど)と接続する場合は、市販の光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルで接続してください。接続する音響機器がドルビーデジタルや DTSなどに対応している場合は、迫力ある音声で楽しむことができます。

⚠注意 光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルのどちらか一方を接続してください。同時に2系統接続しないでください。

メモ 接続や準備が完了した後、本製品の設定画面で「Audio setting」を正しく設定してください(P40)。

本製品に電源ケーブルを接続する

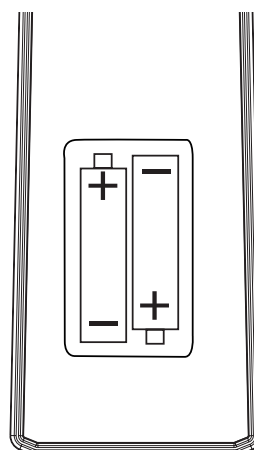
付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

⚠注意 **露つきにご注意ください。**

本製品やディスクに露つきが起きた状態で本製品を使用すると、ディスクや本製品を傷め故障の原因となります。寒いことらから急に温かい部屋に移動させたり、急にまわりの温度が変わったときなど露つきが起こりやすくなります。そのようなときは、本製品にディスクが入っている場合は取り出し、電源を入れた状態で1〜2時間待ってから使用してください。

リモコンに電池を入れる

リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは単4乾電池2本で動作します。リモコン裏面の電池カバーを開け、以下のように電池を入れてください。

⚠注意
- ＋と－の向きに注意して正しく入れてください。
- 付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取替えください。

パソコンにPCastMediaServerをインストールする

本製品と接続するパソコン(再生するファイルを保存しているパソコン)にPCast Media Serverをインストールします。PCast Media Serverをインストールしたパソコンは、本製品で自動的に認識できるようになります。

⚠注意
- ファイヤーウォール機能を持つソフトウェアをお使いの場合、ファイヤーウォール機能を無効にするか、UDPポート「1900」とTCPポート「8000」の使用を許可してください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。
- プロバイダから配布されるPPPoE接続ツール(フレッツ接続ツールなど)をパソコンにインストールしている場合には、アンインストールしてください。
- PC98-NXをお使いの場合は、PCast Media Serverをインストールする前に「CyberTrio-NX」を「アドバンスモード」に変更してください。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

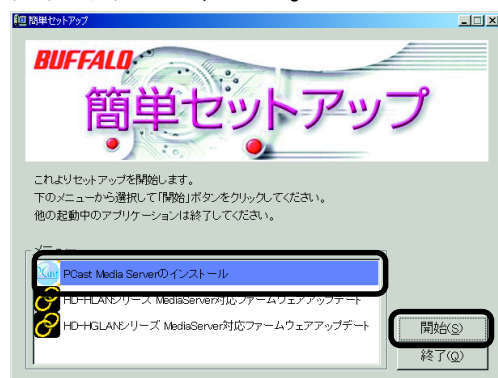
1 パソコンを起動します。

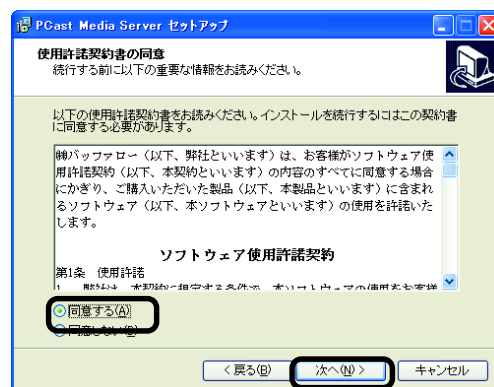
WindowsXP/2000をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2 ユーティリティCDをパソコンにセットします。

しばらくすると「簡単セットアップ」が起動します

3 「PCast Media Serverのインストール」を選択し、[開始]をクリックします。

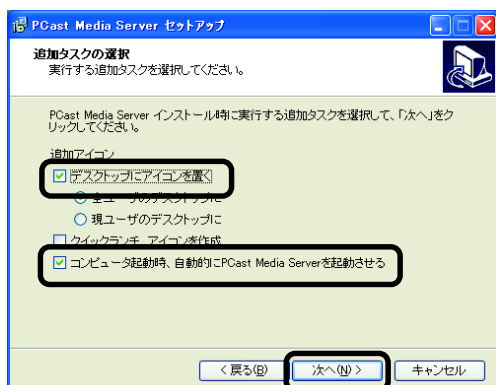
以下の画面が表示されない場合は、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」をダブルクリックしてください。

4 [次へ]をクリックします。

5 [同意する]にチェックをつけ、[次へ]をクリックします。

6 [次へ]をクリックします。

パソコンにPCastMediaServerをインストールする（つづき）

7 インストール先を確認して[次へ]をクリックします。

8 [次へ]をクリックします。

9 [デスクトップにアイコンを置く]および[コンピュータ起動時、自動的にPCast Media Serverを起動させる]にチェックをつけ、[次へ]をクリックします。

10[インストール]をクリックします。

11[完了]をクリックします。

以上でPCast Media Serverのインストールは完了です。
PCast Media Serverをインストールしたパソコンに保存されたファイルを本製品で再生することができます。

メモ 初期設定では「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の以下のフォルダにあるファイルを本製品で再生できるようになります。また、本製品で再生したいフォルダは、変更や追加することができます。フォルダを変更したい場合や、追加したい場合は、「再生するフォルダを追加、変更する」（P31）を参照してください。

- 映像（映画）ファイル
  「マイビデオ（My Videos）」フォルダ
- 音楽ファイル
  「マイミュージック（My Musics）」フォルダ
- 写真ファイル
  「マイピクチャ（My Picturs）」フォルダ

本製品の電源を入れる

本製品の接続とPCast Media Serverのインストールが完了したら、本製品を起動してみましょう。

⚠注意 露つきにご注意ください。

本製品やディスクに露つきが起きた状態で本製品を使用すると、ディスクや本製品を傷め故障の原因となります。寒いことらから急に温かい部屋に移動させたり、急にまわりの温度が変わったときなど露つきが起こりやすくなります。そのようなときは、本製品にディスクが入っている場合は取り出し、電源を入れた状態で1～2時間待ってから使用してください。

1 PCast Media Serverをインストールしたパソコンを起動します。

2 テレビの電源を入れます。

3 テレビの入力を本製品を接続した端子にあわせます。

4 本製品の電源を入れます。

リモコンまたは本製品の電源ボタンを押すと電源が入ります。

5 テレビに以下の画面が表示されます。PCast Media Serverをインストールしたパソコンが表示されていることを確認してください。

画面が表示されるまで1分程度かかることがあります。

PCast Media Serverをインストールしたパソコンが表示されない場合

「困ったときは」の「本製品でパソコンが認識できない」(P52)を参照ししてください。

以上で本製品をお使いになることができるようになりました。

はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

ディスクを再生する

本製品でディスクを再生する場合は、以下の手順で行ってください。

1 本製品の電源を入れます。

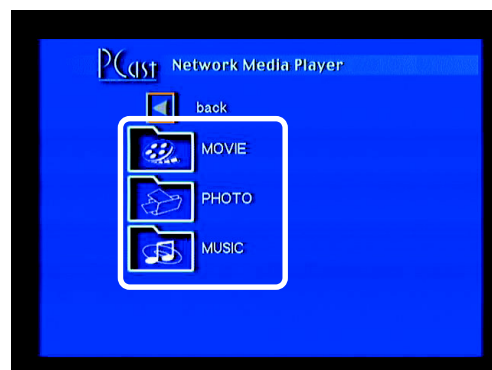
2 [オープン/クローズ]ボタンを押してトレイを開きます。

3 ディスクをトレイにセットして[オープン/クローズ]ボタンを押します。

4 を選択して[Enter]ボタンを押します。

自動再生を設定している場合は、自動的に再生されます。

5 再生したいジャンルを選択し、[Enter] ボタンを押します。

DVDビデオやビデオCD、音楽CDの場合は以下の画面は表示されず、自動的に再生されます。

6 再生したいファイルやフォルダを選択し、[Enter]ボタンを押します。

表示された全てのファイルを再生したい場合

[リピート]ボタンを押します。

以上でディスクの再生は完了です。

いろいろな再生（DVDビデオのみ）

ここではDVDビデオの再生時に操作できる機能を紹介しています。

⚠注意 **DVDによっては、操作に制限のある場合があります。DVDディスクの機能や操作については、ディスクに付属のマニュアルを参照してください。制限されている操作のボタンを押した場合、画面左上に「無効」と表示されます。**

■チャプター（トラック）を頭出し再生したい

再生中に［前］ボタンまたは［次］ボタンを押します。

■早送り、巻戻ししたい

再生中に［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押します。ボタンを押すたびに早送り、巻戻しの速度を調節できます。
ふつうのの再生に戻すときは［再生］ボタンを押します。

■ミュートしたい

［ミュート］ボタンを押します。

■一時停止したい

［一時停止 / コマ送り］ボタンを押します。
ふつうの再生に戻すときは、［再生］ボタンを押します。

■コマ送りしたい

［一時停止 / コマ送り］ボタンを押します。
ボタンを押すたび静止画をひとコマずつ表示します
ふつうの再生に戻すときは、［再生］ボタンを押します。

■ゆっくり（スロー）再生したい

［スロー］ボタンを押します。
ボタンを押すたびにスローの速度が変わります。
ふつうの再生に戻すときは［再生］ボタンを押します。

■音声を切り替えたい

複数の音声を記録しているDVDでは音声言語を切り替えることができます。
再生中に［音声］ボタンを押します。

■字幕を切り替えたい

字幕が記録されているDVDでは、字幕に表示される言語を切り替えたり、表示しないようにすることができます。
再生中に［字幕］ボタンを押してください。
押すたびに字幕の表示を変更します。

■ズームしたい

再生中に［ズーム］ボタンを押します。
ボタンを押すたびにズームの倍率を変更できます。

■アングルを切り替える

複数のアングル（角度）の映像が保存されたDVDの場合は、アングルを変更できます。
［アングル］ボタンを押してください。

■リピートしたい

同じチャプターやタイトルを繰り返し再生することができます。
［リピート］ボタンを押してください。
ボタンを押すたびに、チャプターリピート→タイトルリピート→リピートOFFの順に切り替わります。

■好きな部分だけをリピートしたい（リピートA-B）

開始位置（A）と終了位置（B）を指定して繰り返し再生することができます。

①再生中に、繰り返しをはじめたい位置で［A-B］ボタンを押します。
　開始位置（A）を設定しました。
②繰り返しを終わりたい位置でもう一度［A-B］ボタンを押します。
　終了位置（B）を設定しました。

以後は開始位置から終了位置まで繰り返し再生します。
リピートを解除するときは、再度［A-B］ボタンを押してください。

■再生する時間やチャプターを指定したい

お好みの時間やチャプターから再生できます。

① ［サーチ］ボタンを押します
② 「タイム」または「チャプタ」にカーソルを合わせ、数字ボタンでお好みの時間またはチャプターを指定します。

■トップメニューを表示する

［トップメニュー］ボタンを押します。

■チャプターメニューを表示する

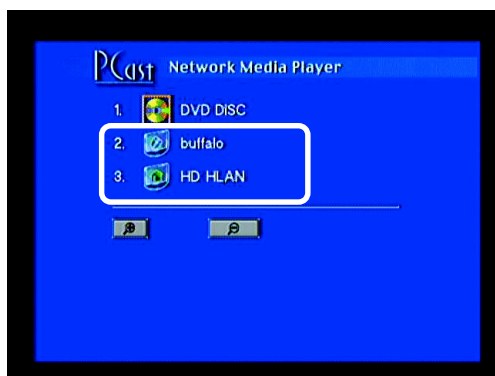
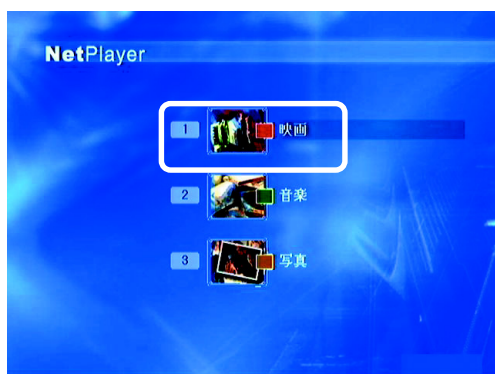
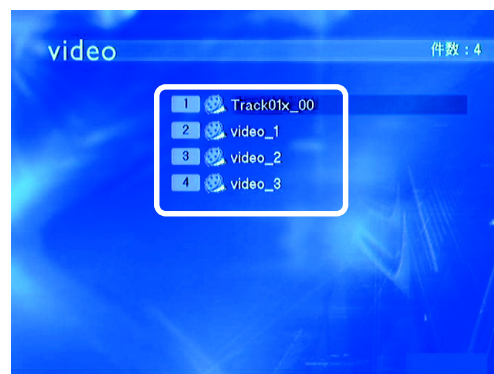
［メニュー］ボタンを押します。

パソコンのデータを再生する

本製品で、PCast Media Serverをインストールしたパソコン内ファイルを再生することができます。映像ファイル、音楽ファイル、写真ファイルによって再生方法が異なります。

映像ファイルを再生する

メモ　初期設定では、マイ ビデオ(My Videos)内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ビデオフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ビデオフォルダに移動するかPCast Media Serverの設定を変更してください(P31)。

1 再生したい映像が保存されているパソコンを選択し、[Enter] ボタンを押します。

2 「映画」を選択し、[Enter] ボタンを押します。

3 再生したいファイルやフォルダを選択し、[Enter] ボタンを押します。

表示されている全てのファイルを再生したい場合

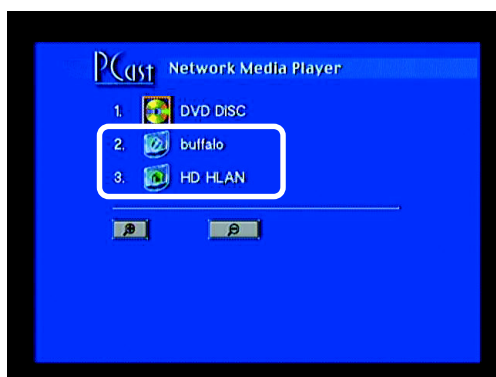
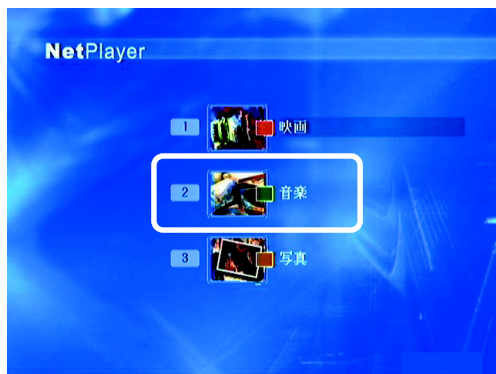
上の画面で[リピート]ボタンを押します。

以上で映像ファイルの再生は完了です。選択した映像ファイルが再生されます。

パソコンのデータを再生する(つづき)

音楽ファイルを再生する

メモ　初期設定では、マイ ミュージック(My Musics)内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ミュージックフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ミュージックフォルダに移動するかPCast Media Serverの設定を変更してください(P31)。

1 再生したい音楽が保存されているパソコンを選択し、[Enter] ボタンを押します。

2 「音楽」を選択し、[Enter] ボタンを押します。

3 再生したいファイルやフォルダを選択し、[Enter] ボタンを押します。

表示されている全てのファイルを再生したい場合

上の画面で[リピート]ボタンを押します。

以上で音楽ファイルの再生は完了です。選択した音楽ファイルが再生されます。

メモ　音楽再生時にお好みの写真データを表示させることができます。詳しくは、「ミュージックファイルを確認する」(P37)を参照してください。

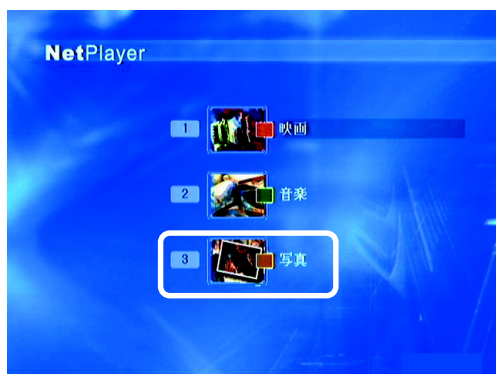
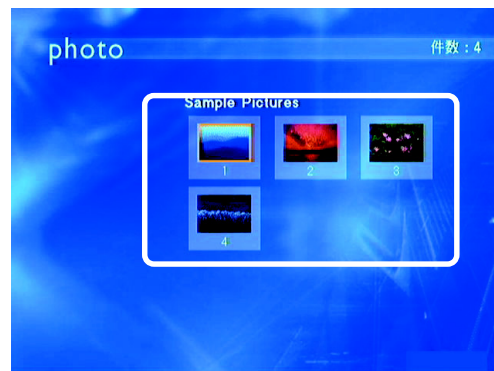
はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

パソコンのデータを再生する(つづき)

写真ファイルを再生する

メモ　初期設定では、マイ ピクチャ(My Pictures)内の映像ファイルを再生できるように設定されています。再生したいファイルがマイ ピクチャフォルダにない場合は、再生したいファイルをマイ ピクチャフォルダに移動するかPCast Media Serverの設定を変更してください(P31)。

1 表示したいファイルが保存されているパソコンを選択し、[Enter] ボタンを押します。

2 「写真」を選択し、[Enter] ボタンを押します。

3 表示したいファイルやフォルダを選択し、[Enter] ボタンを押します。

表示されている全てのファイルをスライドショー表示したい場合

上の画面で[リピート]ボタンを押します。

以上で写真ファイルの再生は完了です。選択した写真ファイルが表示されます。

メモ　写真表示時にお好みの音楽を再生させることができます。詳しくは「フォトファイルを確認する」(P37)を参照してください。

再生するフォルダを追加、変更する

本製品で再生するファイルを保存するフォルダを指定できます。ここで指定したフォルダのファイルを本製品で再生できます。

フォルダを変更したい

本製品で再生するフォルダを変更します。ここで指定したフォルダにあるファイル(サブフォルダのファイルも含む)を本製品から再生できるようになります。

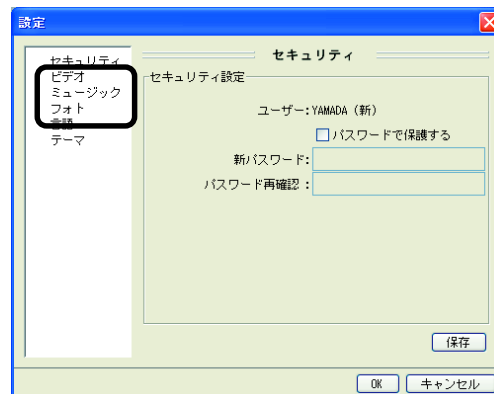
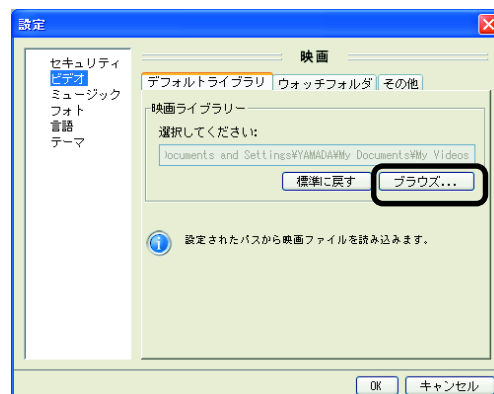
1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Serverを起動します。

PCast Media Serverを起動するには、デスクトップにある PCast Media Server をダブルクリックします。

「PCast Media Serverがすでに起動しています」と表示された場合

[了解]をクリックします

2 [編集] – [設定] を選択します。

3 [ビデオ]、[ミュージック]、[フォト] から設定したいジャンルを選択します。

4 [ブラウズ]をクリックして、本製品で再生したいフォルダを選択します。

メモ **[標準に戻す]をクリックすると以下のフォルダ(初期設定)に設定されます。**

•ビデオ
「マイドキュメント(My Documents)」フォルダ内の「マイビデオ(My Videos)」

•ミュージック
「マイドキュメント(My Documents)」フォルダ内の「マイミュージック(My Musics)」

•フォト
「マイドキュメント(My Documents)」フォルダ内の「マイピクチャ(My Pictures)」

以上でフォルダの変更は完了です。

再生するフォルダを追加、変更する（つづき）

フォルダを追加したい（ビデオ、ミュージックのみ）

本製品で再生したいフォルダが2つ以上ある場合は、ウォッチフォルダを設定します。ウォッチフォルダに設定したフォルダは、本製品で再生できるようになります。以下の手順で設定してください。

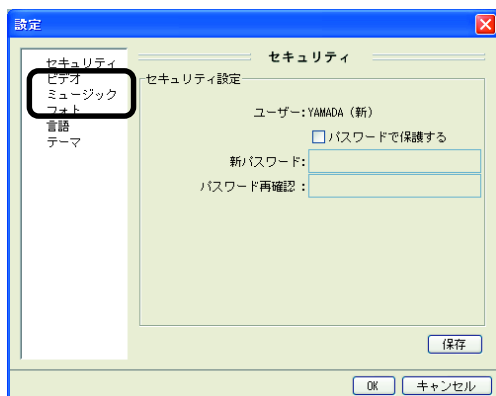
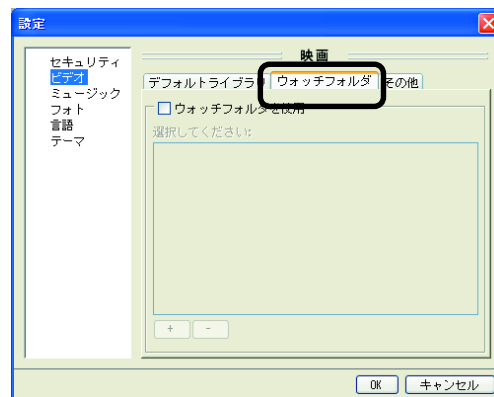
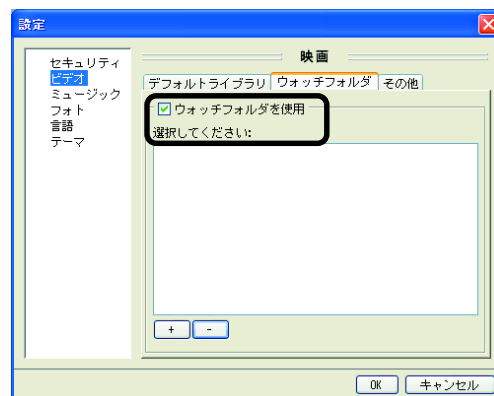
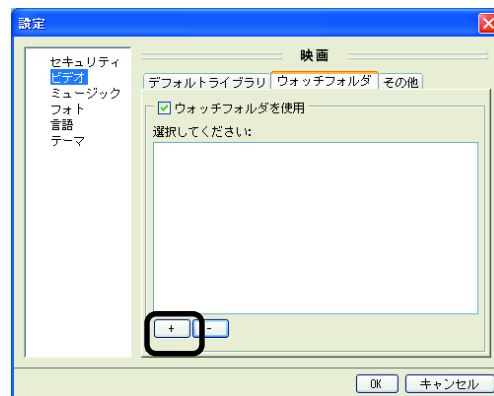
1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Serverを起動します。

PCast Media Serverを起動するには、デスクトップにある をダブルクリックします。

「PCast Media Serverがすでに起動しています」と表示された場合

[了解]をクリックします。

2 [編集] ー [設定] を選択します。

3 [ビデオ]、[ミュージック] から設定したいジャンルを選択します。

4 [ウォッチフォルダ]タブをクリックします。

5 [ウォッチフォルダを使用]にチェックをつけます。

6 [＋]をクリックして、追加したいフォルダを選択します。

以上でフォルダの追加は完了です。

パソコンにパスワードを設定する

パソコンにパスワードを設定できます。パスワードを設定すると、本製品からパソコンにアクセスするときにパスワードが必要となります。

⚠注意 本製品からパスワードを設定したパソコンにアクセスする場合、パスワードの入力画面が表示されます。このパスワードを解除すると、本製品の電源が入っている間は何度でもアクセスできるようになります。再度パスワードをかけたい場合は、本製品の電源を一度お切りください。

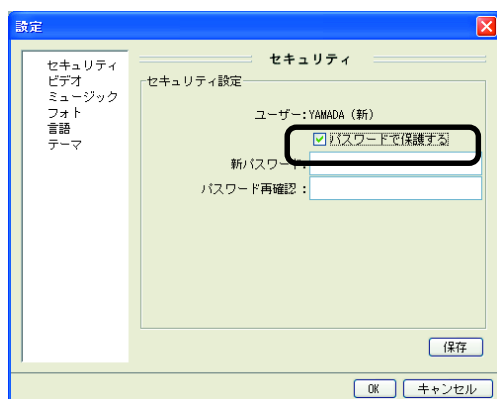
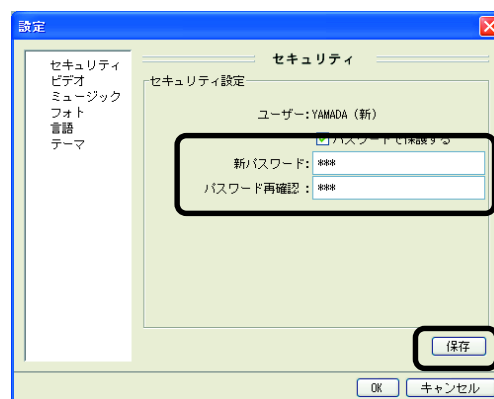
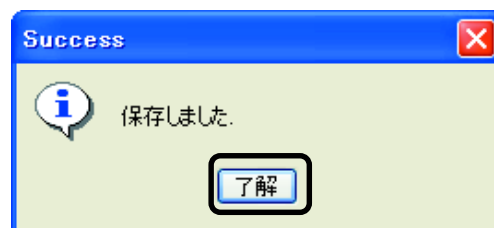
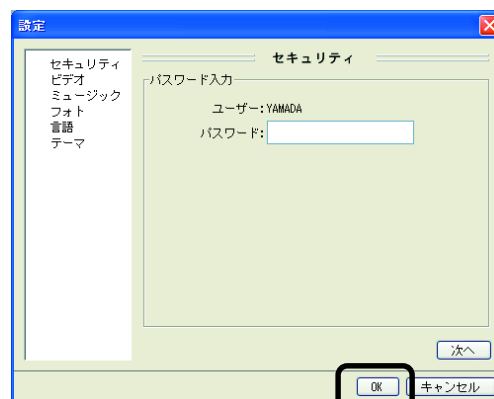
1 設定を変更したいパソコンでPCast Media Serverを起動します。

PCast Media Serverを起動するには、デスクトップにある PCast Media Server をダブルクリックします。

「PCast Media SerVerがすでに起動しています」と表示された場合

[了解]をクリックします。

2 [編集] – [設定] を選択します。

3 [パスワードを使用する]にチェックをつけます。

4 「新パスワード」と「パスワード再確認」に設定するパスワードを入力し、[保存]をクリックします。

5 [了解]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

以上でパスワードの設定は完了です。
本製品の操作画面でパスワードを設定したパソコンを選択すると、パスワードが要求されるようになります。

パソコンを追加、削除する

本製品と通信する（再生するファイルを保存した）パソコンを追加、削除することができます。

パソコンを追加する

以下の手順でパソコンを追加します。

1 追加したいパソコンにPCast Media Serverをインストールします。

2 本製品の電源を入れます。

以上で完了です。
PCast Media Serverをインストールしたパソコンは、自動的に本製品で認識します。

■上記の手順でパソコンが追加できない場合

上記の手順でパソコンが追加できない場合は、以下の手順でパソコンを追加してください。

1 追加したいパソコンにPCast Media Serverをインストールします。

2 本製品の電源を入れます。

3 を選択し［Enter］ボタンを押します。

4 「パソコン名」に追加したいパソコンの名称を、「パソコンIP」に追加したいパソコンのIPアドレスを入力します。

5 を選択し、［Enter］ボタンを押します。

以上で完了です。
前の画面に戻るときは を選択し［Enter］ボタンを押します。

パソコンを追加、削除する（つづき）

パソコンを削除する

1 **削除するパソコンにインストールされているPCast Media Serverをアンインストールします。**

2 **本製品の電源を入れます。**

3 **を選択し,[Enter]ボタンを押します。**

4 **削除したいパソコンを選択し、[×]を付けます。**

5 **を選択し、[Enter]ボタンを押します。**

以上でパソコンの削除は完了です。

前の画面に戻るときは を選択し[Enter]ボタンを押します。

再生できるファイルをパソコンで確認する

ここでは、本製品で再生できるファイルをパソコンで確認する方法を説明します。ファイルの確認にはPCast Media Serverを使用します。
また、PCast Media Serverでは、音楽再生時に表示する写真データや、スライドショー時に流れる音楽を設定できます。

PCast Media Serverを起動する

1 デスクトップにある PCast Media Server アイコンをダブルクリックします。

2 以下の画面が表示されます。

メモ 「PCast Media Serverがすでに起動しています」と表示された場合は、[了解]をクリックしてください。

ビデオ(映画)ファイルを確認する

本製品で再生できるビデオファイルを確認できます。

1 画面左の[ビデオ]をクリックします。

2 本製品で再生できるビデオファイルが表示されます。

⚠注意 **赤文字で表示されるファイルについて**
赤文字で表示されたファイルは、DivX3.11にて作成されたファイルです。[Open Div3ファイルを変換]をクリックすると再生できるようになることがあります。
なお、再生できるファイルは変換しないでください。変換すると再生ができなくなることがあります。変換を行うと元に戻せませんので、バックアップを作成することをお勧めします。

メモ 初期設定では「マイドキュメント(My Documents)」フォルダ内の「マイビデオ(My Videos)」に保存されているビデオデータが表示されます。再生できるフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」(P31)を参照してください。

再生できるファイルをパソコンで確認する（つづき）

ミュージックファイルを確認する

本製品で再生できるミュージックファイルを確認できます。また、本製品でミュージックファイルを再生した場合に表示される写真データの設定ができます。

1　画面左の［ミュージック］をクリックします。

2　本製品で再生できるミュージックファイルが表示されます。

音楽再生中にお好みの写真データを表示させたい場合は、画面下の［写真アルバム］にお好みの写真が保存してあるフォルダを選択してください。ここで選択したフォルダの写真ファイルが音楽再生中に表示されます。

メモ　初期設定では「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の「マイミュージック（My Musics）」に保存されているミュージックデータが表示されます。再生できるフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」（P31）を参照してください。

フォトファイルを表示する

本製品で表示できるフォトファイルを確認できます。また、本製品でフォトファイルを表示した場合に再生される音楽データの設定ができます。

1　画面左の［フォト］をクリックします。

2　本製品で再生できるフォトファイルが表示されます。

スライドショーの表示間隔を設定したい場合は、画面右下の「スライドショーを*秒表示します」の*部分の数字を変更してください。

フォトファイルを表示中にお好みの音楽を再生したい場合は、画面下の［プレイリスト］にお好みの写真が保存してあるフォルダを選択してください。ここで選択したフォルダの写真ファイルが音楽再生中に表示されます。

メモ　初期設定では「マイドキュメント（My Documents）」フォルダ内の「マイピクチャ（My Picturs）」に保存されているフォトデータが表示されます。表示するフォルダを変更したい場合には、「再生するフォルダを追加、変更する」（P31）を参照してください。

本製品の詳細設定

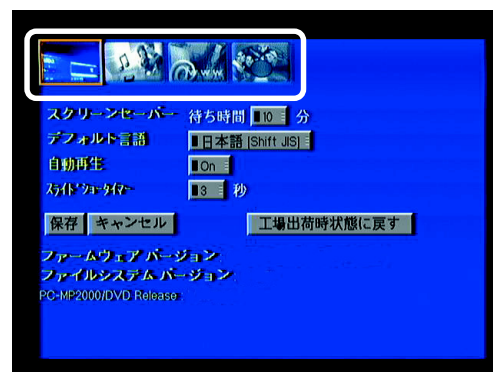
本製品の詳細設定を説明します。

詳細設定画面を表示する

本製品の詳細設定は以下の手順で起動します。

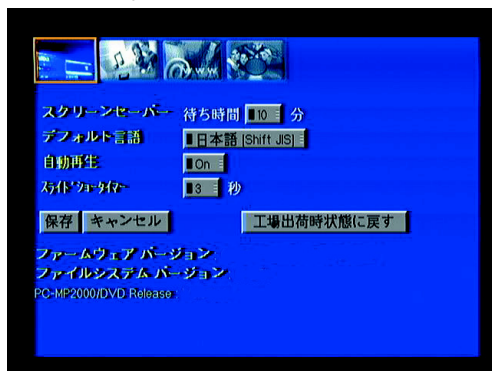
1 本製品またはリモコンの[電源]ボタンを押して本製品を起動します。

2 [セットアップ]ボタンを押します。

3 画面左上のイラストを選択して[Enter]ボタンを押すと、設定項目を変更します。

以降は、リモコンの▲▼ボタンで選択したい項目を選択します。
各設定項目は次のページから説明します。

本製品の詳細設定（つづき）

詳細設定画面(1)

詳細設定の画面で一番最初に表示される画面です。本製品で表示する言語の設定や自動再生のON/OFFを設定をできます。

・スクリーンセーバー

スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。ここで設定した時間、本製品を操作しないとスクリーンセーバーが起動します。

・デフォルト言語

本製品で表示する言語を設定します。

・自動再生

本製品にディスクを入れたときに、自動的に再生するかを設定します。

・スライドショータイマー

DVDやCDディスクの写真データをスライドショーするときに、1枚の写真を何秒表示するか設定します。

・保存

変更した内容を保存します。

・キャンセル

設定した内容を保存せずに設定画面を終了します。

・工場出荷時に状態戻す

本製品の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

・ファームウェアバージョン

本製品のファームウェアのバージョンを表示します。

・ファイルシステムバージョン

本製品のファイルシステムのバージョンを表示します。

・PC-MP2000/DVD Release

本製品のバージョンを表示します。

本製品の詳細設定（つづき）

詳細設定画面(2)

詳細設定画面上のイラストで左から2番目のイラストを選択した場合に表示されます。テレビのタイプやDVDの視聴制限について設定を行えます。

•TVタイプ

DVDビデオの映像表示方法を「4:3レターボックス」、「4:3パンスキャン」、「16:9ワイド」から選択できます。ワイドテレビをお使いの方は、「16:9ワイド」を選択してください。通常のテレビをお使いの方は、「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」を選択してください。レターボックスは映像の横幅を基準に映像を表示しますので、ワイド映像をご覧になる場合は画面の上下に黒い帯がでます。パンスキャンは、映像の縦幅を基準に映像を表示しますので、ワイド映像をご覧になる場合に左右の画面が欠けて見えることがあります。

•DVD視聴制限レベル

DVDの視聴制限（パレンタルレベル）を設定します。あらかじめ視聴制限の情報が記録されているDVDに限り再生を制限する機能です。DVD視聴制限レベルを設定すると、視聴制限の情報が記録されているDVDを再生する際にパスワードが必要となります。制限の目安は以下のとおりです。

8:成人向け

7〜4:中〜高校生向け

2〜3:小〜中学生向け

1:子供向け

off:制限しない

•VCD PBC

ビデオCDのPBC(Play Back Control)機能を使用するか設定します。

•Audio setting

オーディオの出力を設定します。「Stereo Output」（ステレオ）と「AC3 5.1 Output」（5.1チャンネル）を選択できます。本製品にデジタルアンプなどを接続し、ドルビーデジタルやDTSなどのマルチチャンネル音声を楽しみたい方は、「AC3 5.1 Output」を選択してください。

⚠注意 **ドルビーデジタルやDTS対応の音響機器と接続していない場合は「Stereo Output」を選択してください。「AC3 5.1 Output」を選択すると音声が正しく出力されないことがあります。**

•パスワードの設定

DVD視聴制限レベルを設定した場合のパスワードを設定します。

•保存

変更した内容を保存します。

•キャンセル

設定した内容を保存せずに設定画面を終了します。

•工場出荷時状態に戻す

本製品の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

本製品の詳細設定（つづき）

詳細設定画面(3)

詳細設定画面上のイラストで左から3番目のイラストを選択した場合に表示されます。本製品のネットワーク設定を表示、設定できます。

・MACアドレス

本製品のMACアドレスを表示します。

・IPアドレス

本製品のIPアドレスを設定します。

・サブネットマスク

サブネットマスクを表示します。

・優先DNSサーバ

優先DNSサーバを表示します。

・代替DNSサーバ

代替DNSサーバを表示します。

・デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを表示します。

・手動設定を行う

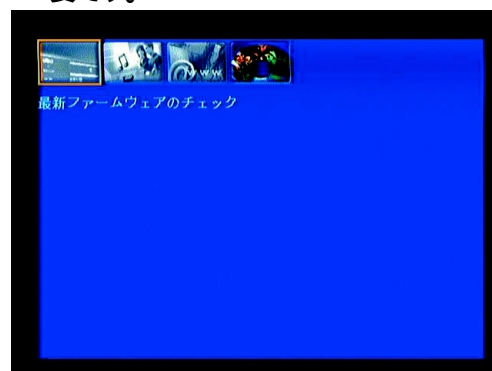
手動で設定を行う場合に選択します。この項目を選択した場合、本製品のIPアドレス、サブネットマスク、優先DNSサーバ、代替DNSサーバ、デフォルトゲートウェイを手動で設定できます。
本製品を接続したネットワーク上にルータがない場合（DHCPサーバがない場合）、この項目を選択してIPアドレスなどを設定してください。

・自動的に取得する

IPアドレスなどの設定項目を、ネットワーク上にあるDHCPサーバ（ルータなど）から自動的に取得します。

詳細設定画面(4)

詳細設定画面上のイラストで一番右のイラストを選択した場合に表示されます。本製品のファームウェアを更新するときに使用します。

⚠注意 **最新ファームウェアをチェックする場合は、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。**

・最新ファームウェアのチェック

本製品がインターネットに接続できる場合に、最新のファームウェア（本製品の内部ソフトウェア）がないか確認します。最新のファームウェアが公開されている場合は、ファームウェアを更新します。
ファームウェア更新時に以下の画面が表示されたときは、すでに最新のファームウェアで動作しています。

```
        Firmware Update System
No update available.
Click here to continue.
```

PCast Media Serverの設定

PCast Media Serverの設定を行います。PCast Media Serverの設定で本製品で再生できるフォルダを変更、追加できたり、本製品からパソコンにアクセスするときにパスワードの入力を必要とすることができます。

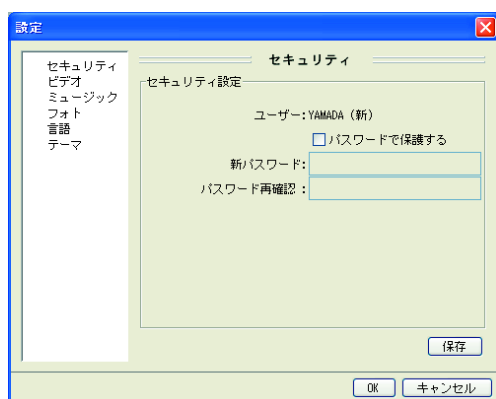
設定画面を表示する

設定画面を表示するには以下の手順で行ってください。

1 デスクトップにある (PCast Media Server) アイコンをダブルクリックします。

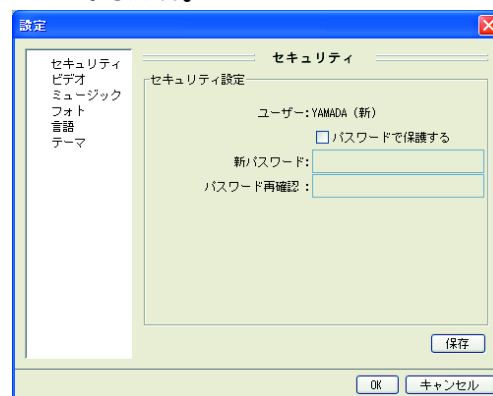
メモ 「PCast Media Serverがすでに起動しています」と表示された場合は、[了解]をクリックしてください。

2 [編集]-[設定]を選択します。

3 PCast Media Serverの設定画面が表示されます。

以上で設定画面の表示は完了です。各設定画面の項目は次ページから説明します。

セキュリティ設定

本製品からパソコン内のファイルを再生するときのパスワードを設定できます。ここでパスワードを設定すると、パソコン内のデータを再生するときにパスワードの入力が必要となります。また、すでにパスワードを設定されているときは、この設定を行うのにパスワードの入力が必要です。

⚠注意
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。
- パスワードを設定するときは、パスワードを入力した後必ず[保存]をクリックしてください。[保存]をクリックしないとパスワードが保存されません。

・パスワードで保護する

パスワードを設定したいときにチェックをつけます。

・新パスワード

設定したいパスワードを入力します。

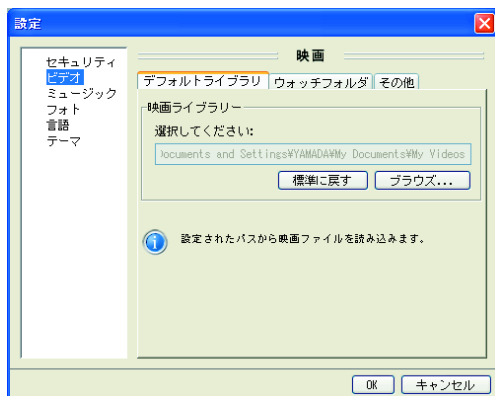
・パスワード再確認

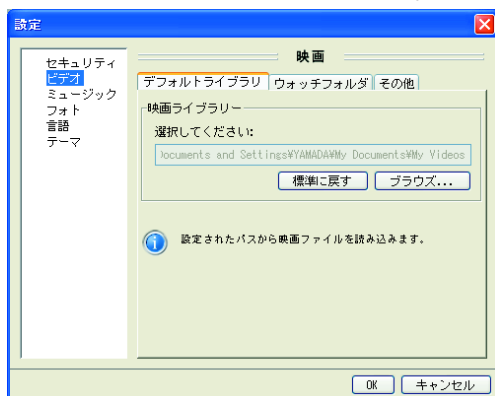
上の「新パスワード」で入力したパスワードをもう一度入力します。

・保存

パスワードを保存します。

ビデオ設定

本製品で再生する映像ファイルを保存したフォルダを設定できます。また、この設定には3つのタブがあり、タブごとに各種設定が行えます。

■デフォルトライブラリ

本製品で再生するフォルダを指定できます。

・映画ライブラリー

本製品で再生する映像ファイルを保存したフォルダを設定します。

・標準に戻す

本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント（My Documents）」内の「マイ ビデオ（My Videos）」です。

・ブラウズ

本製品で再生するフォルダを指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

■ウォッチフォルダ

2つ以上のフォルダを本製品で再生したい場合に使用します。ウォッチフォルダは、デフォルトライブラリで設定したフォルダと同様に本製品で再生できます。ただし、ウォッチフォルダで設定したフォルダ内のファイルは、PCast Media Serverで確認することができません。

・ウォッチフォルダを使用

デフォルトライブラリで設定したフォルダ以外にも本製品で再生したいフォルダがある場合にチェックをつけます。

・＋

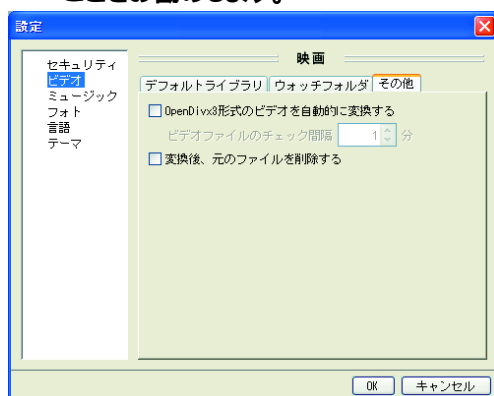
本製品で再生するフォルダを追加するときにクリックします。クリックすると、本製品で再生するフォルダを指定できます。

・－

設定したフォルダを削除する場合にクリックします。設定を削除する場合は、削除したい設定をクリックした後、このボタンをクリックしてください。

■その他

再生できないMPEG4形式のファイルがあった場合、自動的にファイルを変換するように設定できます。

⚠注意
- **本製品で再生できないMPEG4形式のファイルがあるときのみ使用してください。再生できるファイルを変換すると、再生できなくなることがあります。**
- **設定を行った場合、ファイルを自動的に変換します。バックアップファイルは作成されません。設定を行う前にバックアップを作成することをお勧めします。**

•OpenDivx3形式のビデオを自動的に変換する

OpenDivx3形式のビデオを自動的に変換する場合にチェックをつけます。

•ビデオファイルのチェック間隔

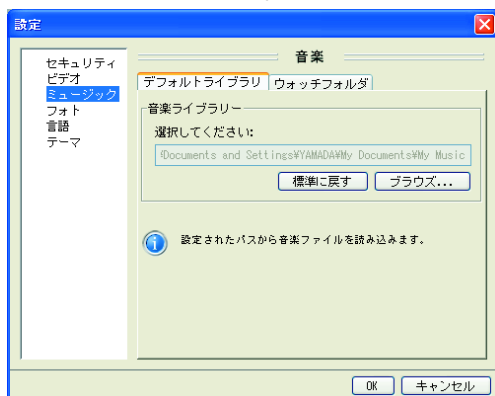
「OpenDivx3形式のビデオを自動的に変換する」にチェックをつけた場合に、どのくらいの間隔でデフォルトライブラリで指定したフォルダ内のビデオファイルをチェックするか設定します。

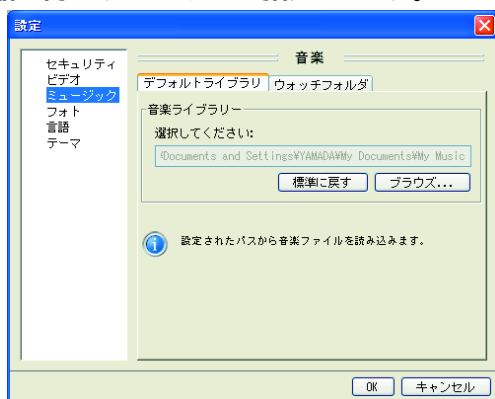
•変換後、元のファイルを削除する

ファイルを変換した後に、元のファイルを削除する場合はチェックをつけます。

PCast Media Serverの設定（つづき）

ミュージック設定

本製品で再生する音楽ファイルを保存したフォルダを設定できます。また、この設定には2つのタブがあり、タブごとに各種設定が行えます。

■デフォルトライブラリ

本製品で再生するフォルダを指定できます。

・音楽ライブラリー

本製品で再生する音楽ファイルを保存したフォルダを設定します。

・標準に戻す

本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント(My Documents)」内の「マイ ミュージック(My Musics)」です。

・ブラウズ

本製品で再生するフォルダを指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

■ウォッチフォルダ

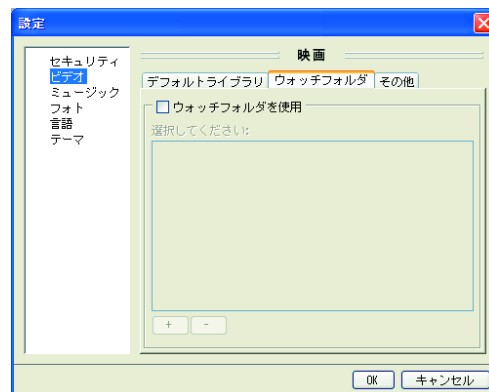
2つ以上のフォルダを本製品で再生したい場合に使用します。ウォッチフォルダは、デフォルトライブラリで設定したフォルダと同様に本製品で再生できます。ただし、ウォッチフォルダで設定したフォルダ内のファイルは、PCast Media Serverで確認することができません。

・ウォッチフォルダを使用

デフォルトライブラリで設定したフォルダ以外にも本製品で再生したいフォルダがある場合にチェックをつけます。

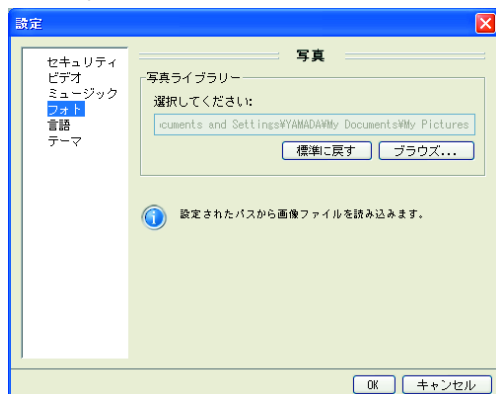
・＋

本製品で再生するフォルダを追加するときにクリックします。クリックすると、本製品で再生するフォルダを指定できます。

・－

設定したフォルダを削除する場合にクリックします。設定を削除する場合は、削除したい設定をクリックした後、このボタンをクリックしてください。

PCast Media Serverの設定（つづき）

フォト設定

本製品で表示する写真ファイルを保存したフォルダを設定できます。

•写真ライブラリー

本製品で表示する写真ファイルを保存したフォルダを設定します。

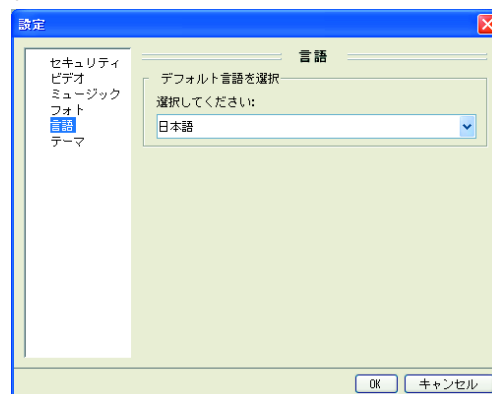
•標準に戻す

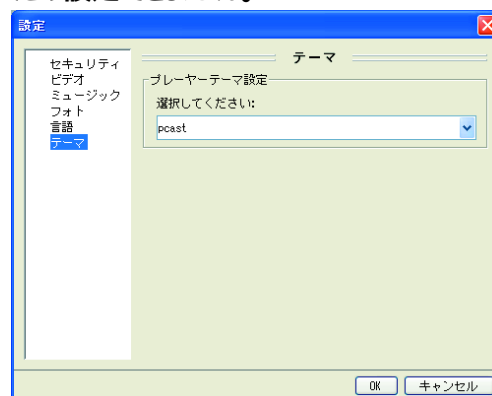
本製品で再生するフォルダを初期設定に戻します。初期設定は、「マイドキュメント（My Documents）」内の「マイ ピクチャ（My Picturs）」です。

•ブラウズ

本製品で表示するフォルダを指定したい場合にクリックします。クリックすると、フォルダを選択することができます。

言語設定

PCast Media Serverで使用する言語を設定できます。本製品では日本語のみの対応となるため設定できません。

テーマ設定

本製品の画面デザイン設定です。本製品では1種類しかないため設定できません。

ルータをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンのIPアドレスを確認し、本製品のIPアドレスを手動で設定する手順を説明します。PCast Media Serverをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルータを使用していない（DHCPサーバ機能がない）場合のみ行ってください。

メモ　**画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。**

パソコンのIPアドレスを確認する

■ WindowsXP/2000の場合

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2 画面に「C:\>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address」欄と「Subnet Mask」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

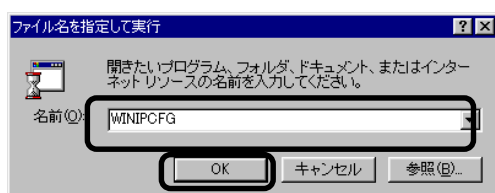
```
C:\>IPCONFIG /ALL
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                          :192.168.11.2
Subnet Mask                         :255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix      :
Description                         :BUFFALO LGY-PCI-TXD Ethernet Adapter
Physical Address                    :
DHCP Enabled                        :Yes
Default Gateway                     :192.168.0.1
DNS Servers                         :192.168.0.1
```

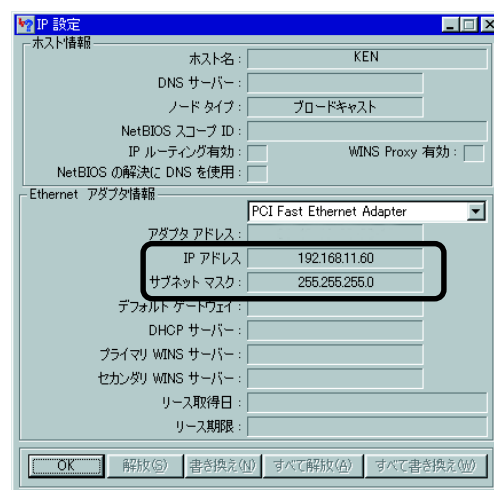
以上でパソコンのIPアドレス確認は完了です。
つづいてP49の手順で本製品のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定するIPアドレスやサブネットマスクの値は、次ページの「本製品に設定するIPアドレスの値は?」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は?」を参照してください。

ルータをお持ちでない方へ（IPアドレスを手動で設定する手順）（つづき）

■ WindowsMeの場合

1　［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2　「WINIPCFG」と入力し、［OK］をクリックします。

3　お使いのネットワークアダプタを選択し、［詳細］をクリックします。

4　「IPアドレス」と「サブネットマスク」欄を確認します。

以上でIPアドレスの確認は完了です。
つづいて次ページの手順で本製品のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定するIPアドレスやサブネットマスクの値は、以下を参照してください。

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク

255.255.255.0　の場合

本製品のサブネットマスク

255.255.255.0　に設定します。

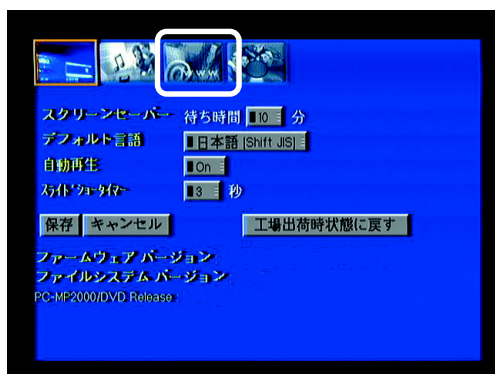
同じ値にする

ルータをお持ちでない方へ
（IP アドレスを手動で設定する手順）（つづき）

本製品のIPアドレスを設定する

1　本製品の電源を入れます。

2　[セットアップ]ボタンを押して設定画面を表示します。

3　画面上の左から3番目のイラストを選択し[Enter]ボタンを押します。

4　[手動設定を行う] を選択し、[Enter]ボタンを押します。

お使いの環境によっては手順5の画面が表示されることがあります。その場合は手順5へ進んでください。

5　IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

⚠注意　**IPアドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値がわからないときは、P48の「本製品に設定するIPアドレスの値は?」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は?」を参照してください。**

例:パソコンのIPアドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品のIPアドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

6　[保存]を選択し、[Enter]ボタンを押します。

7　「OKを押してリブートしてください」と表示されたら、[Enter]ボタンを押します。

以上で本製品のIPアドレスの設定は完了です。

用語集

・アスペクト比

映像の縦と横の比率です。一般のテレビは4:3、ワイドテレビは16:9になっています。

・タイトル

DVDビデオディスクに記録された一番大きな単位です。映画などでは1つの作品が1つのタイトルとなっていることが多く、ディスクによっては1枚に複数のタイトルが記録されていることもあります。

・チャプター

ひとつのタイトルをいくつかに区切った単位です。各チャプターごとに頭だしできるようになっています。

・トラック

音楽CDやMP3の曲のことです。

・コンポーネントビデオ

映像信号の方式です。映像を3つの信号に分けて伝送する方式で、Y/CB(PB)・CR(PR)などの信号形式があります。一般のAVケーブルで接続するよりも高品質の映像をお楽しみいただけます。

・MPEG

Moving Picture Expert Group(通称MPEGフォーマットフォーラム)が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEGフォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-VideoやVideo-CDにも使われているフォーマットです。MPEGフォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつの形式があります。

・MPEG-1

MPEG-1フォーマットとは、1990年に規格化された動画圧縮技術で、Video-CDのフォーマット形式に用いられています。映像圧縮規格のMPEG-1と、音声圧縮規格である「MPEG-1 AudioLayer-1」「MPEG-1 AudioLayer-2」「MPEG-1 AudioLayer-3(MP3)」のうちどれかを組み合わせることにより、1つの動画ファイルとなる形式です。CD-R1枚(650MB)に352×240の解像度で約74分の映像を保存できます。

・MPEG-2

MPEG-1フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Videoの形式に用いられています。

・MP3

元の音質をあまり損なわずに圧縮できる音声圧縮形式です。PCMなどに比べ小さな容量に圧縮できます。

・ビットレート

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上しますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

・PBC

ビデオCDを再生する方式です。表示されるメニューを見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

・コンポーネント映像出力端子

通常のAVケーブルやS映像端子よりも鮮明な映像を表示することができます。また、プログレッシ映像出力にも対応しており、高密度な映像を楽しむことができます。

・プログレッシブ出力

映像の出力形式です。付属のAVケーブルやS端子ケーブルで接続した場合に出力される信号(インターレース出力)の倍の走査線を持つ高密度な映像信号です。本製品の場合は、コンポーネントケーブルでプログレッシブ対応のテレビと接続した場合やD2以上のD端子入力を持つテレビと接続した場合に切り替えることができます。

・S映像出力

映像の出力方式です。映像の信号をカラーと輝度の信号に分けて伝送するため、付属のAVケーブルで接続するよりも鮮明な映像を見ることができます。

・ドルビーデジタル

デジタル音声の圧縮方式です。マルチチャンネル音声に対応しており、高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

・DTS

デジタル音声の圧縮方式です。映画館などで採用されており、マルチチャンネル音声に対応しています。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

困ったときは

電源が入らない

原因:
電源コードがコンセントまたは本製品から外れている
対策:
電源コードはコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①:
テレビの接続が間違っている
対策①:
正しく接続してください

原因②:
入力を正しく選択していない
対策②:
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③:
DVDビデオの音声トラックがDTSになっている
対策③:
DTSはDTS対応の音響機器で再生しないと正常に音声が出力されません。お使いの機器がDTSに対応していない場合は、DTS以外の音声に切り替えてお使いください。

原因④:
テレビモードがプログレッシブになっている
対策④:
プログレッシブ対応のテレビでない場合は、プログレッシブ再生した映像を表示できません。リモコンの[テレビモード]ボタンを押してテレビモードを切り替えてください。なお、ボタンを続けて押すと正常に切り替わらないことがあります。ボタンはゆっくりと押してください。

リモコンで操作できない

原因①:
電池が消耗している
対策①:
新しい電池と交換してください

原因②:
電池の入れ方が間違っている
対策②:
電池の極性(+、-)を確認して、正しく入れてください

原因③:
リモコンをテレビに向けている
対策③:
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因④:
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策④:
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑤:
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑤:
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダに入れたファイルを認識できない

原因①:
ファイル名に半角カタカナを使用している
対策①:
ファイル名に半角カタカナが使用されていると認識できません。ファイル名を変更してください。

原因②:
ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)を使用している
対策②:
ファイル名に2バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

DVDビデオを再生できない

原因①:
DVD-VRまたはDVD+VRの形式で書き込んだDVDを再生している
対策①:
DVD-VRやDVD+VRの形式で記録されたDVDは再生できません。DVD-VIDEO形式で記録してください。

原因②:
海外(リージョンコードが「2」以外)のDVDビデオを再生している
対策②:
本製品は海外のDVDビデオを再生することができません。日本国内(リージョンコードが「2」)のDVDビデオを再生してください。

困ったときは（つづき）

ディスクの時間情報が表示されない

原因①：
ファイナライズされていないCD-R/RWを再生している
対策①：
ファイナライズされていない場合、ディスクの時間情報（再生時間など）が表示されない場合があります。ファイナライズされたディスクをお使いください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LANケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンにLANケーブルが接続されているか確認してください（カチッと音がするまで差し込んでください）。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接する場合は、クロスケーブルが必要です。クロスケーブルで接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：
パソコンにPCast Media Serverをインストールしていない
対策③：
パソコンにPCast Media Serverをインストールしてください。

原因④：
PPPoE接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている
対策④：
PPPoE接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：
PCast Media Serverが起動していない
対策⑤：
タスクトレイにPCast Media Serverのアイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、デスクトップのPCast Media Serverアイコンをダブルクリックしてください。

原因⑥：
IPアドレスが間違っている
対策⑥：
「ルータ機能搭載機器をお持ちでない方へ」（P47）を参照して、本製品とIPアドレスとパソコンのIPアドレス「***.***.***.;;;」（「*」や「;」は数字）の**部分が同じであることを確認してください。
例えば、本製品のIPアドレスが「192.168.11.51」の場合、パソコンのIPアドレスが「192.168.11.61」などになっていることを確認してください。

原因⑦：
ファイヤーウォール機能を持つソフトがインストールされている
対策⑦：
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、UDPポート「1900」とTCPポート[8000」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイヤーウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター2003がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
1. ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター2003］－［ウィルスバスター2003操作］を選択します。
2. 「ウィルスバスター2003操作画面」が起動したら、［プロフェッショナル］タブをクリックします。
3. 右側に表示されている［緊急ロック］ボタンをクリックし、「緊急ロックがオフになりました」と表示されることを確認して、［OK］をクリックします。
4. ［無線LANモード］ボタンに×印がついていることを確認します。×印がついていない場合は、［無線LANモード］ボタンをクリックして無線LANモードをOFFにしてください。
   ここまでの設定ができたら、「ウィルスバスター2003操作画面」を閉じます。
5. ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター2003］－［ウィルスバスター2003設定］を選択します。
   「LANにプロキシサーバーを使用する」がチェックされていない場合は、設定完了です。
   チェックされている場合は、［詳細設定］をクリックして、手順6以降に進みます。

6.「ウィルスバスター2003操作画面」が起動したら、［パーソナルファイアウォール］－［セキュリティレベル］内にある「パーソナルファイアウォールを有効にする」のチェックマークを外し、［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター2002がインストールされている場合】

「パーソナルファイアウォール機能」を無効にした状態でご利用になるか、手動設定で本製品のIPアドレスを「信頼するコンピュータ」として登録してください。詳細は、以下を参照してください。

● パーソナルファイアウォール機能を無効にする方法

1.［スタート］－［(すべての)プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター2002］－［ウィルスバスター2002設定］を選択します。
　※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。

2.ウィルスバスター2002操作画面内のクイック設定より、「パーソナルファイアウォール」のチェックマークを外し、［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

● Link StationのIPアドレスを登録する方法

1.［スタート］－［(すべての)プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター2002］－［ウィルスバスター2002設定］を選択します。
　※ウィルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウィルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。

2.ウィルスバスター2002の設定画面の左側のメニューから「パーソナルファイアウォール」－「信頼するコンピュータ」を選択します。

3.「信頼するコンピュータ」欄にネットワークアダプタが表示されますので、チェックを入れて［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

【WindowsXPのファイアウォール機能が有効に設定されている場合】

以下の手順でファイアウォール機能を無効にしてください。

1.[スタート]-[コントロールパネル]をクリックします。

2.[クラシック表示に切り替える]をクリックします。
　※[カテゴリ表示に切り替える]と表示されている場合は、[クラシック表示に切り替える]は表示されていません。そのまま作業を続行してください。

3.[ネットワーク接続]をダブルクリックします。

4.[ローカルエリア接続](または[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

5.[詳細設定]タブをクリックします。

6.[インターネット接続ファイアウォール]内のチェックボックスにチェックマークがあるか確認してください。ある場合はクリックしてチェックマークを外してください。

7.[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①
　再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない

対策①
　ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください(P8)。

原因②：
　ファイルが壊れている

対策②：
　ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③：
　ベースラインJPEG以外のJPEGファイルを表示している

対策③：
　本製品で表示できるJPEGファイルは、ベースラインJPEGのみです。ベースラインJPEGファイルを表示してください。

原因④
　保存しているフォルダ階層が深い

対策④
　画像ファイルの場合、2階層以降にあるファイルを再生できません。2階層より上のフォルダにファイルを移動してください。

原因⑤
　映像と音声がインターリーブされていない

対策⑤
　インターリーブされていないAVIファイルは再生できません。AVIファイルはインターリーブしてください。

はじめに
接続・準備
使ってみよう
詳細設定
付録

困ったときは（つづき）

原因⑥

FileSystem Revisionが付加されていない

対策⑥

DVDやCDにファイルを記録するときは、FileSystem Revisionを付けてください。WinCDRでは、[設定]－[データ設定]－[ISO9660/UDF]タブから[バージョン情報]にチェックを入れると付けられます。

原因⑦

著作権保護されたファイルを再生している

対策⑦

本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：

NTSC方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している

対策①：

NTSC方式以外の方式で記録された映像は正常にに表示されないことがあります。

原因②：

本製品をビデオ機器を経由させテレビに接続している

対策②：

本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：

本製品をビデオ機能を搭載したテレビに接続している

対策③：

本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：

本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している

対策①：

本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：

11Mbpsの無線(IEEE802.11b)で接続している

対策②：

11Mbpsの無線で接続している場合、3Mbps以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

原因③：

再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない

対策③：

ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください(P8)。

テレビタイプの変更ができない

原因①：

ファイル再生中にテレビタイプを変更している

対策①：

ファイル再生中はテレビタイプを変更できません。再生を停止してから変更してください。

プログレッシブスキャン出力機能を使用できない

原因①：
テレビがプログレッシブスキャンに対応していない
対策①：
プログレッシブスキャン出力機能を使用するときはテレビのコンポーネント映像入力端子に接続するか、D2以上の映像入力端子に接続してください。また、テレビがプログレッシブスキャン機能に対応しているか確認してください。

原因②：
付属のAVケーブルまたはS映像ケーブルでテレビと接続している
対策②：
プログレッシブスキャン出力機能を使用するときはテレビのコンポーネント映像入力端子に接続するか、D2以上の映像入力端子に接続してください。

DVDビデオのタイトルサーチ機能やズーム表示機能が使用できない

原因①：
DVDビデオディスクで機能が制限されている
対策①：
DVDビデオディスクによっては、機能を制限している場合があります。詳しくは、DVDビデオディスクのマニュアルを参照してください。

テレビに何も映らない

原因①：
プログレッシブ出力設定になっている
対策①：
プログレッシブ映像を表示できるのは、プログレッシブ機能対応テレビのみです。プログレッシブ機能に対応していないテレビをお使いの場合は[テレビモード]ボタンで出力モードを切り替えてください。

仕様

メモ **最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。**

有線LANインターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクタ形状	RJ-45型8極コネクタ
外部出力	
フォーマット	NTSC（日本国内仕様）
コンポジットビデオ	RCAピンジャック
Sビデオ	ミニDIN4ピン
色差コンポーネント	Y、Cb/Pb、Cr/Pr
アナログオーディオ	右、左
デジタルオーディオ	光角形、同軸
PCast Media Server	
対応パソコン	Ethernetポートを搭載するDOS/V機(OADG仕様)、 およびNEC PC98-NXシリーズ
対応OS	WindowsXP、Windows2000、WindowsMe(Millennium Edition)、
CPU	PentiumⅢ 500MHzまたは同等性能以上の互換CPU
メモリ	128MB以上（256MB以上推奨）
ハードディスク	50MB以上の空き容量
ネットワーク	Ethernetポート（100BASE-TX/10BASE-T）
その他	
使用電源	AC100V 50/60Hz
最大消費電力	36W（スタンバイ時1W）
動作環境	温度：5～40℃　　湿度：5～85%(結露なきこと)
外形寸法	420(W)×50(H)×265(D)mm
重量	約2.7kg
対応LinkStation	弊社製HD-HLANシリーズ、HD-HGLANシリーズ

切り取り

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件の下に置いて修理を致します。

・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社バッファロー

本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ
ご　住　所	〒 TEL:（　　）　　ー

製　品　名	PC-MP2000/DVD
シリアルNo.	製品本体に記載
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　　月　　日 ご購入日が確認できる書類（レシートなど）を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

切り取り

保　証　契　約　約　款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）

1 この約款において、「保証書」とは、製品名および保証期間を予め記入したうえで弊社が修理を保証する旨を約して発行された証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない場合をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障箇所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障箇所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内にあっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご呈示頂けない場合。
3 ご呈示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いがある場合。
4 お客様が製品をお買いあげ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
5 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
6 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地異、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
7 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り替える場合。
8 全各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては本紙「修理について」をご確認ください。
尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換若しくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理価格が製品価格を上回る場合には、補償対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。
3 ハードディスクの修理に関しましては、修理の内容により、ディスク若しくは製品を交換する場合またはディスクをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社が記憶されたデータについてバックアップを作成致しません。
4 無償保証により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させていただきますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品致します。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）

1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修理しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

切り取り

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品をいったんパソコンから取り外してください。パソコンから取り外したことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本製品と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・本製品と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本製品と、ラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。

PC-MP2000/DVDユーザーズマニュアル
2004年3月3日 第2版発行
発行　　株式会社バッファロー

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 **マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。**

2 **弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。**

インターネット

製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 **上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。**

バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

電話番号　(東　京)　03-5781-7260　月〜金　9:30-19:00　土　9:30-18:00
電話番号　(名古屋)　052-619-1188　月〜金　(祝日除く) 9:30-17:00

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15

4 **修理は、以下へご依頼ください。**　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。

バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒456-0023　愛知県名古屋市熱田区六野二丁目１番３号　中京倉庫２７号棟
株式会社バッファロー修理センター　受付宛
電話番号　052-883-0570　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票添付が困難な場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、Link Stationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 **ユーザ登録について**

弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）ユーザ登録が可能です。

※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

PY00-29190-DM10-02　2-01　C10-005